

NU7

National University Seven

国立七大学の総合情報誌

2025.7 No.60

巻頭特集

熊ノ郷 淳・ 第19代大阪大学総長に聞く

就任記念インタビュー・カラーピンナップ

講演録

名古屋大学での学びが、 こんなに役立った

ブラザー工業(株)顧問 佐々木一郎

七大学情報

七大学入学式の情景

学 士 会

目次



NU7

National University Seven

国立七大学の総合情報誌



Web 版『NU7』の歩きかた

- ✓ URL・記事タイトル・青字をクリック（タップ）で、該当ページまたは外部サイトに移動します。
- ✓ メールアドレスをクリック（タップ）で、メールアプリが開きます。
- ✓ ページ下部の操作ボタンで、前後・目次・表紙・最終ページに移動できます。
- ✓ 個人利用の範囲で、ご自由に印刷していただけます。

SAMPLE

告知

学士会 講演会

日時 20XX年 月X日（金）19:00～

場所 XX 講堂

演題 「XXXX」

講師 XX 氏（XX 大学教授）

参加費 3,000 円

＼クリック！／

申込 [専用フォーム](#)よりお申し込みください。

申込期限 X月X日（火）

問い合わせ koho@gakushikai.or.jp

公式サイト <https://www.gakushikai.or.jp/>

※詳細は [Web サイト](#)をご確認ください。

表紙へ 前のページへ 目次へ 次のページへ 最終ページへ



ぜひ、ご活用ください！



7 UNIV. 〈カラーピンナップ〉

熊ノ郷淳・第19代大阪大学総長に聞く

7 UNIV.

七大学入学式の情景

7 UNIV. / 7 ALUMNI

全力応援中! 第64回七大学戦/七大学サッカー部OB戦

巻頭
カラー

2025.7 No.60 7 MEMBERS

会員ギャラリー 「Summer Energy」「Muir Woods National Monument」 八束 正司夫

7 UNIV.

熊ノ郷淳・第19代大阪大学総長に聞く〈就任記念インタビュー〉

「自由闊達な学風の下で新たな挑戦を続け 『地域に生き世界に伸びる』を一貫」

01

7 LECTURE

名古屋講演会(2025年1月10日(金)開催)

「名古屋大学での学びが、こんなに役立った」

佐々木 一郎(ブラザー工業株式会社 顧問)

07

7 UNIV.

七大学情報

七大学生協書籍ランキング 45

14

7 ALUMNI

同窓会案内・開催報告

22

7 ALUMNI

名古屋大学農学部・生命農学研究科同窓会(セコイア会)

第27回関東支部総会 特別講演

「植物生産科学分野における持続型農業の実現への取り組み」中園 幹生

「人身売買と『無意識のバイアス』」玉井 桂子

26

7 MEMBERS

会員通信

34

会員活動報告

「朝倉市応援サポーター」小原 太

「生で聞いてよかった! 3月のミニプレゼン会の感想」溝口 梓里

「北大卒業生が創業したClaGlaのボードゲーム「どっちぼーい」をみんなで体験しようを開催いたしました」谷藤 公貴

会員著作物紹介 37 / 原稿募集のご案内 38

7 NEWS

学生会だより

39

学生会 Web 名簿閲覧システムのご利用の手引き 43

7 STAFFs

編集委員コラム

47

7 NEWS

学生会館閉館中の会員優待施設のご案内

巻末
カラー

JOIN US!

学生会の紹介



表紙写真・西村公宏 会員(東北大・工博・平18)

「六月の憩い」
場所: 小幡北山埴輪製作遺跡
(茨城県東茨城郡茨城町)

令和7年度

七大学入学式の 情景

各Webサイトにて、アーカイブ動画・開催報告・総長告辞などをご覧いただけます。

北海道大学

4月4日(金)

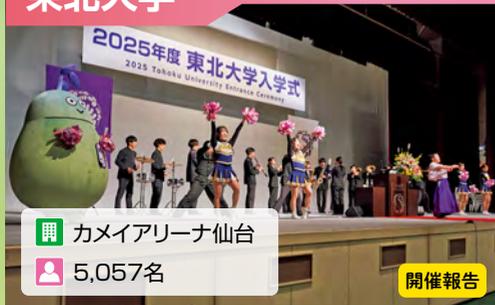


札幌コンベンションセンター
4,897名

総長告辞

東北大学

4月3日(木)



カメラアリーナ仙台
5,057名

開催報告

東京大学

4月11日(金)



日本武道館
約7,976名

学部 開催報告

大学院 開催報告

名古屋大学

4月5日(土)



豊田講堂
4,510名

開催報告

京都大学

4月7日(月)



みやこめっせ
6,442名

学部 開催報告

大学院 開催報告

大阪大学

4月8日(火)



大阪城ホール
6,430名

開催報告

九州大学

4月3日(木)



椎木講堂
5,209名

開催報告

会場 入学者数 (学部・大学院の総数)



目次



全 力 応 援 中 !

学士会では、本年も全国七大学総合体育大会（七大戦）と七大学OB サッカー大会（七大サッカー一部OB戦）を応援しています。みなさまも、あたたかなご声援を！

Case.1 第64回七大戦



TEAM	I	II	III	TOTAL	PLAYER	PENALTY	PLAYER	PENALTY	M.C.
KUO	0	0	0	0					
KYO	0	0	0	0					

第64回 全国七大学総合体育大会
北海道大学 vs 京都大学



アイスホッケー



レセプション

**速報 1位は
東北大*!**

9月の閉会式まで
熱い戦いは続きます

*2025年5月26日現在



結果速報・全競技等日程は14・15頁



目次



全 力 応 援 中 !

Case.2 七大サッカー部OB戦2025

総合優勝は 九大!!!

	Over60	Over40	計	順位
北大	4	2	6	7
東北大	4	10	14	4
東大	9	0	9	6
名大	7	9	16	2
京大	12	1	13	5
阪大	9	7	16	3
九大	7	11	18	1 [👑]



3月22日(土)
市原スポレクパークで開催



目次



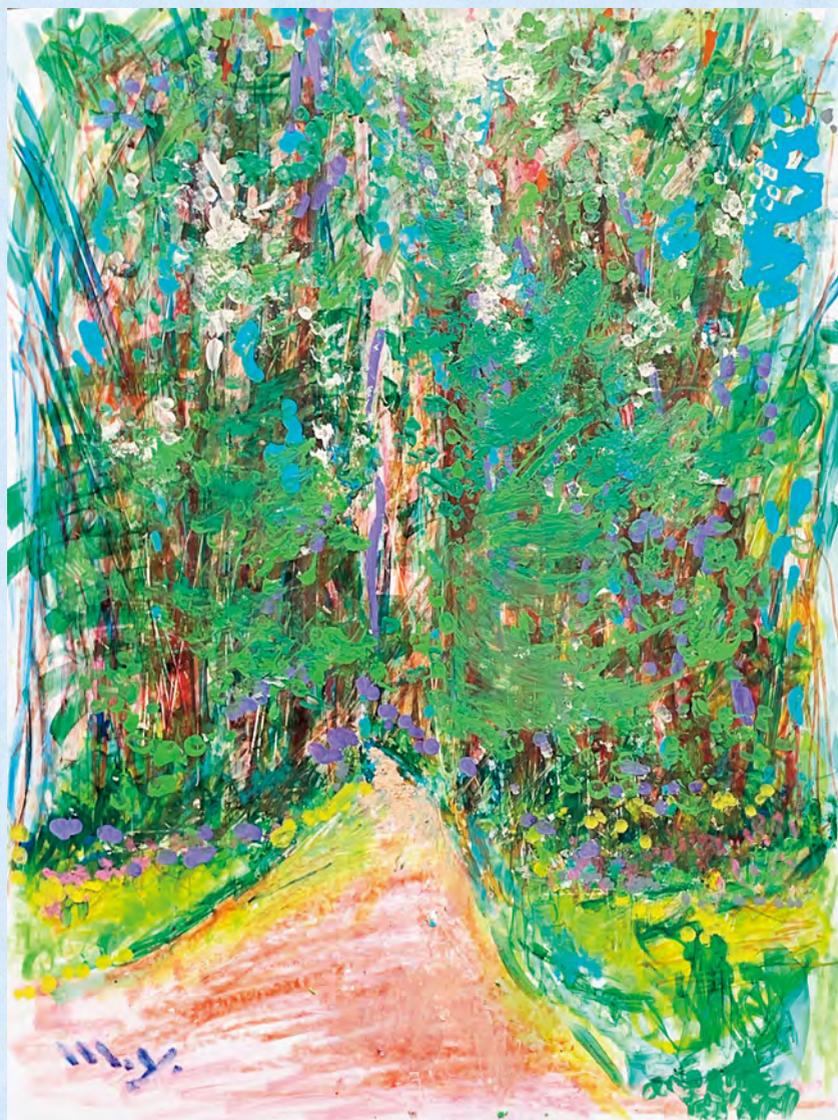
会員ギャラリー



Summer Energy (pinhole camera)

八束正司夫 会員 (京大・工博・昭50)





Muir Woods National Monument (marker)

八束正司夫 会員（京大・工博・昭50）



目次



自由闊達な学風の下で新たな挑戦を続け 「地域に生き世界に伸びる」を一貫 —大阪大学・熊ノ郷 淳新総長に聞く—

本年4月1日、大阪大学第19代総長に就任された熊ノ郷 淳氏に、
今後6年間の抱負を語っていただきました。

熊ノ郷 淳 第19代大阪大学総長

1991年大阪大学医学部医学科卒業。1997年大阪大学大学院医学研究科博士課程内科系専攻修了（医学博士）。大阪大学微生物病研究所助教授等を経て、2006年同教授。2007年大阪大学免疫学フロンティア研究センター教授（学内派遣）。2011年大阪大学大学院医学系研究科教授。2015年大阪大学副理事。2017年大阪大学荣誉教授。2021年大阪大学医学系研究科長・医学部長、同総長参与、同医歯薬生命系戦略会議議長。2023年国立大学法人大阪大学経営協議会委員。2025年4月より現職。日本免疫学会賞、大阪科学賞など受賞多数。科学技術振興機構戦略的創造研究推進事業研究主監（ライフサイエンス系統括）、日本免疫学会理事、日本医学会連合理事等を歴任。

自由で闊達な学問・研究の環境を 整え 意欲的に未来を創造する 力を養う

—国立大学最多の学生数を擁する
大阪大学の新総長として、今後
のビジョンと意気込みをお聞か
せください。

熊ノ郷 大阪大学は、江戸時代後期に緒方洪庵が大坂船場に開いた蘭学の私塾「適塾」を精神的源流の一つとしています。日本中から志ある若者たちが集った適塾では、幕末から明治維新にかけて、福澤諭吉、大村益次郎、佐野常民、高峰讓吉をはじ

めとする、さまざまな分野で近代日本の礎を築いた多数の俊英を輩出しています。当時の塾生は、かきこまって師の講義を聴くのではなく、床にそれぞれの机を並べたり、雑魚寝したりしながら、自由に自分たちのテーマを見つけ、闊達に議論を深める中で各自の得意分野を育て、適塾を巣立っていきました。

本学は、この適塾からの伝統である自由闊達な学風の下、高い志や夢を持った多様な人材が集い、切磋琢磨しながら自身の専門領域を究め、そこで触発された人々が新しい学問を作り上げ、未来を切り拓いていく

という大学のあるべき姿を具現化した「学問の府＝真の知の拠点」となることを目指しています。アカデミアとして、専門領域を深化させる「縦系」と、その学際的広がりを実現させる「横系」とが調和して紡がれていることを、学問の府の根幹に据えて、良い研究、学問ができる環境を整えることを何よりも重視し、構成員が一丸となって、次代に向けた新たな挑戦を続けていきます。

この4月から、本学は国際的なプレゼンスを一層高めるため、公式英語名称を「Osaka University」から「The University of Osaka」に改称しました。まさに適塾のように、世界中から「The University of Osaka」に志ある若者たちが集い、異なる価値観や考え方に触れながら共に学び合い、刺激的な環境の中で自らの可能性を大きく広げて、

意欲的に未来を創造していくことのできる力を養ってもらいたい。それを実現できる教育・環境基盤への整備を推進したいと考えています。

地域に生きる「実学の阪大」の伝統の下 世界水準の産学連携を積極的に推進

—自由闊達な学問・研究を支える環境整備のために必要な財政基盤の確立について、どのようにお考えでしょうか？

熊ノ郷 本学のもう一つの源流である「懐徳堂」は1724年、大坂町人有志の発意と出資によって創設された学問所です。そして1931年、地元の人々の熱烈な要請と他に例のない民間の財政的支援の下で、大阪大学は我が国6番目の帝国大学として発足しました。その後、微生物病研究所や産業科学研究所という附置

研究所も民間からの寄付等によって設立されました。

二つの源流に発する気概ある市民精神が脈々と息づく大学として歴史を刻んできた本学は、「地域に生き世界に伸びる」(=Live Locally,



Grow Globally)」をモットーとして、変動する社会の要請に応じるべく、新たな教育研究の分野を次々と開拓しながら、11 学部 15 研究科を擁する総合大学へと大きな発展を続けてきました。

そして、「実学の阪大」を伝統とする本学は、地域社会に基盤を置きながら、大学の学問・研究の実績を、企業との協働によって、多彩な価値ある製品にして社会に送り出してきました。こうした産学連携のパイオニアの強みを発揮して、世界水準の研究を進め、さらに産学連携を促すことで、財政的な安定性の向上につながることを期待されます。さらに、寄付や基金の運用を図った上で、DX の推進や AI の活用による事務作業等の効率化と負担軽減にも取り組み、さまざまな無駄をなくしていくことも大切だと考えています。

何より、大学の財政的基盤の確立のためには、科研費などの競争的資金の獲得が重要であることは言うまでもありません。そのためにも、10 兆円規模の大学ファンドの支援対象となる国際卓越研究大学への申請と、あわせて、これからの四半世紀にわたって、本学が継続的に発展していくための仕組みの構築にも取り組んでいきます。

やはり、大学の本領は学問・研究であり、それぞれの領域の研究者が世界に通用する優れた成果を上げることが、大学の発信力、発言力の源泉になります。各部署の自主性を尊重しながらボトムアップに取り組み、全学的なガバナンス体制を確立することで、より学問・研究に励みやすい環境への改善を進めること、その一方、学外の優れた人材を招致するクロスアポイントメント制度の活用などによって、世界で活躍する魅力的な研究者を積極的に受け入れることにも力を注ぎたいと考えています。

真の文理融合型プロジェクトに取り組み 総合大学の強みを生かした社会貢献を

——幅広い分野の学問・研究をフォローする総合大学としての大阪大学の強みを、どのように発揮されるのでしょうか？

熊ノ郷 多彩な学問分野のそれぞれに一流の先生方がおられること、学びたいという意欲に応えてくれる学風が培われていることは、“阪大らしさ”の一つかもしれません。

阪大の工学部に入った私の父は、教養部時代の先生との出会いから理学部数学科に転じ、やがて教授になりました。私自身、当初は脳外科医



を目指していましたが、医学部卒業後、恩師である岸本忠三先生（当時、阪大病院第三内科教授。大阪大学第14代総長）の下で臨床と研究の両方を経験してから、微生物病研究所に移り、基礎研究の道に進みました。その時、相談もなく臨床の場を飛び出していった私を、岸本先生は「しっかり頑張らなさい」と激励してくださったのです。

自分に何が向いているのか、やってみなければわからないのだから、やりたいことが見つかったら、やってみればいい。やってダメだとわかったら、戻ってくればいい——学びたいという若者の意欲を受け止めて、チャレンジのチャンスを与えるけれど、それを片道切符にはしない寛容さがあることも、阪大の自由な学風の現れだと感じています。

これから、入学後、自分がやってみたいと思った専攻に、ある程度、フレキシブルに移ることができる阪大のレイト・スペシャリゼーション的なシステムや、学術研究機構の設置によって、大学院の先に、学問の垣根を取り払った分野横断的な研究が自由にできるシステムについても、積極的に導入していくことを構想しています。

文理融合型プロジェクトの実現は、

総合大学ならではの強みの一つですが、従来は理系の研究中心になりがちでした。しかし今、世界の多種多様な諸課題に立ち向かっていくためには、文理の偏りのない総合的なアプローチが必要になっています。人文社会科学系、理工情報系、医歯薬生命系のそれぞれに特色ある学部・研究科を展開する本学は、文理が対等に、持続的に、協働することが求められる複合的なテーマの、真の意味での文理融合型プロジェクトに取り組むことで、社会貢献を果たしていきます。

良き師との出会いがあり、社会に開かれた 大阪大学が実現する「習うは一生」

——「地域に生き世界に伸びる」を標榜する大阪大学の、これからの社会に対するスタンスをお聞かせいただけますか。

熊ノ郷 本学は、全学的な戦略を見据えた教育・研究基盤の整備とともに、多様な人材が活躍できるキャンパスの形成を進めてきました。その中で、大阪市北区の医学部キャンパス跡地には中之島センターを置き、大阪外国語大学を統合した外国語学部・箕面キャンパスを箕面船場駅前に開設した箕面新キャンパスに移転





し、どちらにも社会に開かれた共創の拠点を整備しました。産学連携のみならず、複雑化する地域の課題解決や新たな社会価値の創出に取り組む、さまざまな地域共創プロジェクトも展開しています。

吉田松陰の「習うは一生」の言葉のとおり、人生 100 年時代に、リカレントやリスキリングといった、社会人のための学びの場を広く提供していくことは、「学問のための学問」の枠を超えた大学の新たな使命にもなっています。地域の方々に身近に感じてもらえる雰囲気や醸成しながら、さらに社会にオープンで、より親しまれる大阪大学にしていきたいと思います。

「千日の勧学より一日の学匠」「三年学ばんより、三年師を選ぶべし」の言葉のように、素晴らしい教育者・研究者との出会いによる心震え

る体験は、人生の重要なターニングポイントにもなります。私はこれまで、学生や若手研究者との教授室での 1 対 1 の面談を 14 年間続けてきました。年間 100 人ほど、累計 1,000 人に達した「100 人面談」活動を通して、教授室を訪れてくれた熱意ある学生たちに、憧れのロールモデルとなりうる一流の先生を紹介することで、各自の課題や目標が明確になっていくことがわかりました。

総長として、4 月に入学してきた全学部の 1 年生に向けて「すごい先生たちと出会うための講義」を行い、ぜひ、ロールモデルとなるような“学匠”の姿を見せてあげたい、という一つの夢を実現できることを企図しています。また、良き師との出会いに恵まれた大阪大学の学風を大切に継承し、その魅力を積極的に発信していきたいと考えています。

伝統を継承しつつ、地域とともに歩み続け 社会とともに成長していく大阪大学

——生粋の“阪大育ち”の総長として、母校への思い、卒業生と同窓会へのメッセージをお聞かせください。

熊ノ郷 私が中学3年生の時、脳腫瘍で阪大病院に入院した父は、1年余りの闘病生活の後に亡くなりました。病に苦しむ父の姿を見て、脳外科医になろうと考え、父の病室で高校の受験勉強に励んでいた私に、看護師さんたちは「頑張って医学部に入って、阪大病院に戻っておいでね」と優しく声をかけてくれました。私は、「脳外科医になって阪大病院で働く」ことを決意し、念願の大阪大学医学部に入学しましたが、間もなく、脳外科医への道を断念しました。結んだ靴紐がすぐにほどけるほどの不器用さを自覚したためです。

すっかりモチベーションを失いかけていた時、後に恩師となる岸本先生が免疫に関わる多機能な分子「IL-6（インターロイキン6）」を発見したという新聞記事を見た私は、阪大では免疫研究が盛んなことを初めて知って、免疫学に興味を持ちました。その後、利根川進先生、本庶

佑先生、岸本先生をはじめとする免疫学の著名な研究者の特別講義に参加したことをきっかけに興味を深めた医学の基礎研究の道に導かれることになったのです。

父は生前、大学で「どんな先生に会おうかが大事だ」と言っていました。大阪大学には魂を揺さぶられる一期一会の出会いがあり、一流の師に恵まれて、進むべき道を定めることができました。父の入院中も、亡くなってからの生活の中でも、とても助けていただいた阪大の皆さんに恩返しをしたいという思いを原点に、未来を担う若手の育成に力を尽くしていこうと考えています。

これからも、自由闊達な学風を継承しつつ、地域とともに歩み続け、社会とともに成長していく大阪大学は、卒業生の「習うは一生」をかなえる、いつでも戻ってこられる生涯にわたる“学びの府”です。どうか、同窓生のネットワークを大いに活用して、人の輪を広げ、それぞれの豊かなキャリアに生かしていただきたいと思っています。

本学が教育と研究を通じて得た成果を社会に還元し、未来を切り拓いていく力を次世代につなげていくために、引き続き、同窓の皆さまのご理解とご支援をお願いいたします。



名古屋講演会

開催日：2025年1月10日（金）

会場：名古屋大学野依記念学術交流館

名古屋大学での学びが、 こんなに役立った

ブラザー工業株式会社 取締役副会長 ^{さ さ き いちろう} 佐々木 一郎

* 役職は講演時のものです。

1. ブラザーグループの紹介

ブラザーのルーツ

ブラザーは117年の歴史の中で、時代のニーズに合わせたさまざまな商品を手がけてきました。日本では比較的遅くまで「ミシンのブラザー」というイメージでしたが、欧米ではタイプライターがよく売れて、「事務機のブラザー」になりました。

1908年の創業時、日本には国産ミシンがなく100%輸入でしたが、そのミシンがよく故障したので修理業を始めたのです。たくさんの修理を手がけると、どのような設計がどのような故障を招くのかを学べます。ブラザーが最初に開発したミシンは故障しないことで有名になり、家庭用ミシンのトップブランドになりました。

ブラザーのコアになる強み

ブラザーの強みは何かというと、「学ぶスピード」「改良するスピード」

です。新しいジャンルの商品を発売すると、お客様から「ここがダメ」「ここが壊れた」「ここが不便」という声が届きます。それを迅速に察知して改良します。タイムリーに直せたものは生き残り、できなければ消えます。スピードがあるからこそ、ブラザーはさまざまな商品を扱えるのです。

ブラザーの事業構成

(2023年度売上比率)

① プリンティング・アンド・

ソリューションズ事業 (62.6%)

現在、オフィス用プリンター・複合機は売上の62.6%を占める主力商品です。今後ペーパーレス社会に変わっていくことを考えると、他のビジネスをいかに伸ばすかが課題です。しかし過去には、「タイプライターなんか時代遅れ」「FAXなんか時代遅れ」とさんざん言われた後も、結構よいビジネスになったということがありました。ブラザーでは、次を育てながら、従来



のものも最後までビジネスを続けていきます。

② ドミノ事業 (13.3%)

買収した英ドミノ社の事業で、商品ラベル印刷を中心とした産業印刷用の印刷機です。

③ マシナリー事業 (9.4%)

スマートフォンやパソコンのケースをはじめ、いろいろなものを工作する「工作機械」と呼ばれるものが中心です。

④ パーソナル・アンド・ホーム事業 (6.1%)

家庭用ミシンはブラザーのルーツですが、今や家庭用ミシンを含むパーソナル・アンド・ホーム事業の売上は全体の6.1%です。

⑤ ニッセイ事業 (2.5%)

ギアモータや高剛性減速機、歯車などです。

⑥ ネットワーク・アンド・コンテンツ事業 (4.6%)

業務用通信カラオケシステム(JOYSOUND)を始めた頃、「こんな音質ではダメ」とさんざん言われましたが、一生懸命直してビジネスにしました。

他に新規事業として、燃料電池やiPad 用手書きノートアプリ、快適な冷風を送り、省エネに寄与するスポットクーラーなども扱っています。

ブラザーのミッション

ブラザーでは「グローバル憲章」を制定し、ブラザーグループがグローバ

ルに展開するすべての活動の礎としています。冒頭には「あらゆる場面でお客様を第一に考え、モノ創りを通して優れた価値を創造し、迅速に提供することを使命とする」と書かれており、ミッションを明確にしています。

2. 私の紹介

私は1981年に名古屋大学工学部電気学科を卒業し、1983年に同大学院修士課程を修了して、ブラザー工業に入社しました。

最初の14年間は開発部門で、当初は回路設計に、次いでソフトウェア開発に携わりました。次の4年間は営業・商品企画に異動し、その後お客様サポートと品質保証部門長を歴任して、エンジニア出身で初めてイギリスの販売会社の社長になりました。2008年に帰国後は、新規事業やソフト開発統括、ドミノ事業などを経て、2018年～2024年の6年間、社長を務めました。

私の志 (ミッション)

ブラザー同様、私自身にもミッションがあります。それは「未来のために今より少しでもよい世界を残す」ことです。

きっかけは小学3年生の頃でした。この年頃になると、嫌な勉強もやらないといけません。「人間はなぜ嫌なことをやってまでがんばって生きなければならぬのか」と、生きる意味に悩みました。

あるとき停電と断水を経験して、とても不便でした。なぜ不便かというと、





普段が便利だからです。石器時代に生まれていたら、電気も水道もありません。私たちが便利さを享受できるのは、先人の努力の蓄積があるからです。便利さを享受するからには、当然の義務として、次世代のため少しでも便利な世の中を残すべきだと考えました。

ミッションの意味

なぜミッションの話をするかという
と、個人でも組織でも、同じ方向を見て動いていくためには、ミッション・ビジョン・バリューの3つ(MVV)が大事だと思うからです。

ミッションは、最近ではパーパスといいますが、使命は何か、何のために存在するかです。ビジョンは、いつまでにどうなりたいか。ブラザーでは10年ごとにビジョンを刷新します。バリューは、どんな価値観で取り組むかです。

個人では、ミッションを明確にする
とまっすぐ進めます。組織もMVVを共有すれば、マイクロマネジメントせずとも、個人個人が自主的に考えて動いてくれ、アウトプットが大きくなります。

3. 雨宮研究室に入った理由

私は名古屋大学で電気電子専攻の雨宮研究室に所属しました。雨宮好文先生は国鉄の鉄道技術研究所(当時)から大学の先生になった方です。

雨宮研究室に魅力を感じた大きな理由は、研究テーマが多様で、それぞれの目的が明確だったことです。社会に貢献するという私のミッションにぴったり合う研究室でした。



4. 雨宮研究室の多様な研究テーマ

4-1. 新幹線沿線のテレビ視聴障害

当時、新幹線沿線では、列車の通過に伴い電波ノイズが発生し、テレビの画像と音声が乱れるという問題が起っていました。

新幹線が加速する際には大きな電力が要するため、電流が大きくなります。一方、一定速になって空走しているときは小さくなります。普通に考えれば、電流が大きいときはノイズが大きく、小さいときはノイズが減るように思えます。しかし実際は、加速区間ではノイズが小さくなり、空走区間ではノイズが増えて障害が発生していたのです。

原因はパンタグラフと架線の接触でした。新幹線のスピードでは、どうしてもパンタグラフが架線に対してバウンドします。パンタグラフの集電板がバウンドしたり接触したりするとノイズが発生します。

電流が小さいとき、バウンドすると電流が切れます。電流が大きいとコイル部分で逆起電力が働いてアーク放電が起り、その放電で回路がつながるため、逆に電流の変化は少なくなります。電流が小さいと変化が大きくなるため、電波ノイズが増えたのです。

この問題を解決するために、私は何かを付け加えようと思いました。電流が小さくてもアーク放電が起きるよう、コイル部分を増やして逆起電力を高めれば、アーク放電でつながるはずです。パンタグラフにノイズよけをつけるこ

とも考えました。しかしこのような「付け加える」策では、コストと重量が増えてしまいます。

当時パンタグラフは2両に1個ついでいました。パンタグラフのある車両にはモーターがあり、間に転がるだけの車両があります。16両編成に8個のパンタグラフが常識でした。

現在の新幹線には、16両編成に2個のパンタグラフしかありません。解決方法は「パンタグラフを減らす」ことだったのです。パンタグラフの数を減らすことで、電流が小さいときも1個あたりの電流が増え、ノイズが減ります。

私は固定観念にとらわれていたのです。自分は実世界に対してなんと無力なのかと思いました。雨宮先生はよく「工学は実学。世の中の役に立たないとダメ」と言っていたのですが、その意味がわかりました。

4-2. 核磁気共鳴によるイメージング

水素原子では、1個の電子が原子核の周囲を回っているの、電子のスピンのおかげによって磁気双極子、つまり磁石になっています。通常はスピンの向きはランダムで、全体で大きな磁石になることはありません。しかし、超電導磁石を用いて強い磁界を与えるとスピンの向きが揃い、コマのように回転します（歳差運動）。その周波数に合わせて電波で回転磁界を与えると、今度は磁気双極子が倒れ、回転磁界を止めると起き上がります。この起き上がりの様子(分布)を観察するのが、核



磁気共鳴 (NMR/Nuclear Magnetic Resonance) 現象を利用して画像を得る方法です。

水素原子の起き上がりのスピードは、水素原子の結合や状態によって異なります。人体では、同じ水素原子でも組織と液体とで異なりますので、ここで分けることができます。これがNMRを利用して画像を得る技術、よく知られているMRI (Magnetic Resonance Imaging) です。

この話を最初に聞いたとき、実用化は難しいのではないかと思います。超電導の磁石を作るだけでも大変なのに、さらに強力な磁界となると、例えば酸素ポンプのような磁性体の金属を近くに置くと大変なことになります。しかし実用化され、よく使われています。あの原理がきちんとものになったことは、自分にとって大きな学びでした。

4-3. がんの温熱療法

がんの患部は活発に細胞分裂しており、組織が膨張しているため、血管作りが間に合いません。血管が少ないということは、冷やす力が弱いということです。がんの患部を温めてがん細胞を死滅させる方法が温熱療法です。

雨宮研究室では、マイクロ波を多方向から当て、患部で位相を揃えて患部だけを加熱するという方向で取り組みました。しかし、電子レンジの波でもあるマイクロ波では、水分による吸収や電波の減衰が激しいため、中まで温めるのは難しいことがわかりました。

実用化されたのは高周波電界を使

う方法です。人体を電極で挟んで8 MHzの高周波をかけると体温が上がります。がん細胞ではない組織は血流が盛んになり冷却されますが、がん細胞は冷えにくいので死滅します。この方法は転移が多い乳がんの治療に効果があり、よく使われています。

このテーマでは、すみやかに試し、ダメなら次のテーマに行くという基本姿勢を学べました。このような多様なテーマに触れて、発想も磨かれたと思います。

5. 雨宮研究室に今でも感謝していること

「問題発掘型になれ」

大学院時代、雨宮先生から「問題解決だけではダメ。問題を見つける『問題発掘型』になれ。修論のテーマは自分で探してこい」と言われました。

今「厳しい」という声があがりましたが、本当に大変でした。図書館にもって論文を読み漁り、雑誌や業界紙で世の中の動向を調べました。見つけたテーマは、教授も含めたメンバーの前で発表しなければならず、これがまた大変でした。ですが、テーマ探して苦労した経験は入社後に役立ちました。

それからは、常に他社動向や技術動向を調べる習慣ができました。他社が何か新しいことをやっているということは、ニーズがある、困っているということなのです。とにかく大量に調べ、大量に読み、世の中はこう動いているから自分たちはこれをやらなければならない、という姿勢で取り組みました。





わかりやすい発表を重視

自分が本当に理解していないと、人にわかりやすく説明できないというのは、多くの方が経験していると思います。

雨宮研究室では「もっと簡単に説明しなさい」「本質がわかっていない」とさんざん言われました。研究室内のテーマが多様で、テーマをわかっているのは自分ひとりなので、詳しくない人でもわかるように説明しないとダメです。これは、会社で新しいジャンルを推進する際に、あまり詳しくない人に説明するときはもちろん、的確な質問や、質問の真意を汲んだ回答の仕方でも役立ちました。

また、研究室で定期的に発表することで、定期的に研究を振り返って本質を考える時間にもなりました。

「世の中の役に立つ」とは

雨宮研究室では、実際に問題を解決するものを作りあげないと通用しません。試作品をどんどん作り、山のように失敗すると、原因究明方法も上達していきます。失敗経験は財産です。

企業からの委託研究にも取り組みましたが、実務の問題が多く、どうすれば実際に世の中の役に立つか学べました。実用化にはコストや納期、安定性、安全性などを考えなければなりません。在学中にブラザーから電子教育プログラム開発を依頼されて講師を務めました。この経験から「教えることが最大の学び」と知りました。

この経験を経て、入社後も問題解決に貢献できました。社内で困りごとがあると「佐々木に聞こう」と呼ばれるのです。大変でしたが、学びとやりがいがありました。自分の問題解決力が伸びただけでなく、他のチームに力を

貸すことで、社内の協力も得やすくなりました。

6. 最後に

若き日の経営提案

入社2年目のとき、私は「レーザープリンターを手がけるべき」と訴えました。しかし「1台60万円(当時)もする商品は売れない」「メカの会社だからソフト開発が大変な商品は失敗する」など、さまざまな反対意見に遭いました。

ですが、私のポリシーは「議論するよりやってみる」です。私は名古屋大学の教育で身につけた実行力と、社内の多くの人の協力で商品化に漕ぎつきました。この商品が一気に売れて反対意見はなくなり、社内の応援も増えて楽になりました。

また、このジャンルに取り組んだことでネットワークのサポートやプリンタードライバーの開発も手がけるよう

になり、Apple社などと協業も始まりました。結果、ブラザーのソフトウェア領域は大きく伸びました。

若い皆さんへのアドバイス

若い人からよく「どうしたら失敗しないですみますか」と聞かれます。私がお思うに、人間は最初から考えたとおりうまくいくわけでもないし、自分の考えが世の中の真実を言い当てているわけでもありません。工夫してうまくいかないとしても、それは失敗ではなく、うまくいくと思った自分の考えが世の中とズレていることを学ぶ機会なのです。

「うまくいかない。自分はダメだ」ではなく、「この事象から何を学ぶ?」「次はどうする?」という方向にどんどん行けばよいのです。そういったことを学ばせてくれた、名古屋大学での大変かつ貴重な経験に深く感謝しています。

PROFILE



1981年3月名古屋大学工学部電気学科卒業。1983年3月名古屋大学大学院工学研究科電気工学・電気工学第2および電子工学専攻修了。1983年4月ブラザー工業株式会社入社。2004年10月ブラザー U.K. 出向。2005年1月ブラザー U.K. 社長。2008年4月NID 開発部長。2009年4月執行役員。2012年10月サービス&ソリューションズ事業統括。2014年6月取締役常務執行役員。2016年4月ドミノ事業統括、産業用印刷準事業統括。2017年4月代表取締役専務執行役員。2018年6月代表取締役社長。2024年6月取締役副会長。





第64回七大学戦 結果速報・全競技等日程

日程や会場は変更になる場合があります。最新情報は[七大学戦公式サイト](#)または[同公式X](#)をご覧ください。カラーピンナップは[こちら](#)。

結果速報

(2025年5月26日現在)

競技名	1位	2位	3位	4位	5位	6位	7位
アイスホッケー	北海道	東京	大阪	東北	九州	京都	名古屋
スキー	東北	北海道	東京	京都	九州	大阪	名古屋
航空	名古屋	東北	東京	京都	大阪	九州	北海道

全競技等日程

競技名	競技日程	競技会場
ラグロス (男子)	6月14日(土)・15日(日)	北大サッカーグラウンド・陸上競技場
ラグロス (女子)	6月21日(土)・22日(日)	北大サッカーグラウンド
バスケットボール (男子・女子)	6月23日(月)～28日(土)	北ガスアリーナ札幌 46
硬式庭球 (男子・女子)	6月13日(金)～17日(火)	野幌総合運動公園テニスコート
少林寺拳法	7月5日(土)・6日(日)	北海道大学第一体育館・第二体育館
柔道	7月5日(土)・6日(日)	北海きたえーる
馬術	7月5日(土)・6日(日)	北海道大学馬術部馬場
空手 (男子・女子)	7月13日(日)	北海道大学第一体育館・第二体育館



競技名	競技日程	競技会場
剣道（男子・女子）	7月20日(日)	北海道大学第一体育館・第二体育館
競泳	7月19日(土)・20日(日)	函館市民プール
ヨット	7月19日(土)～21日(月・祝)	小樽市祝津ヨットハウス
陸上競技 (男子・女子)	7月26日(土)・27日(日)	円山陸上競技場
準硬式野球	8月12日(火)～15日(金)	北広島緑葉公園野球場
バドミントン (男子・女子)	8月10日(日)～15日(金)	10日：北海道大学第一体育館・ 第二体育館 11～15日：美香保体育館
硬式野球	8月12日(火)～15日(金)	12日：円山球場・北大屋内運動場 13日・14日：大和ハウス プレミストドーム 14日・15日：北大A球場
弓道	8月9日(土)～12日(火)	北大弓道場
バレーボール (男子・女子)	8月11日(月・祝)～16日(土)	北大体育館 15日のみ北ガスアリーナ札幌 46
ハンドボール	8月17日(日)～22日(金)	17日～19日：北海道大学第一体育 館・第二体育館 20日～22日：北ガスアリーナ札幌 46
フェンシング	8月23日(土)・24日(日)	大阪大学豊中キャンパス第一体育館
応援	8月16日(土)・17日(日)	クラーク会館
フィールドホッケー	女子:8月23日(土)～25日(月)、 男子:9月3日(水)～8日(月)	野幌総合運動公園
水球	8月30日(土)・31日(日)	京都大学構内プール
軟式庭球 (男子・女子)	8月25日(月)～29日(金)	野幌総合運動公園テニスコート
体操	9月5日(金)～7日(日)	野幌総合運動公園
ソフトボール	9月2日(火)～5日(金)	はまなす国体記念石狩市スポーツ広場
洋弓	9月3日(水)～6日(土)	北海道大学陸上競技場
卓球（男子・女子）	9月12日(金)～17日(水)	北海道大学第一体育館
自動車	9月12日(金)・14日(日)	12日：新千歳モーターランド 14日：オートスポーツランド砂川
ゴルフ	9月9日(火)～11日(木)	小樽カントリー倶楽部
相撲	9月14日(日)	北ガスアリーナ札幌 46



告知内容は変更となる場合があります。最新情報は各 Web サイトをご確認ください。

七大学共通

報 告

八大学工学系連合会声明 「未来を創る女性理工系人材と博士 人材を社会へ」が発表されました

北海道大学、東北大学、東京大学、東京科学大学、名古屋大学、京都大学、大阪大学、九州大学の工学系学部と研究科などで構成する「一般社団法人八大学工学系連合会」は、女性理工系人材と博士人材の育成について声明を発表しました。

現在、社会が直面する課題は、少子高齢化、気候変動、貧困など複雑さと困難さを増しており、多様な価値観と新たな知恵をもって課題に向き合う必要があります。工学分野においてもイノベーション創出に不可欠な要素として、女性と博士に対する期待は大きくなっています。この社会の要請に応えるため、女子学生比率の向上にむけて、工学の魅力発信、女子枠に代表される多様な入試制度の導入、生活・学習環境の整備を進めます。

北海道大学

<https://www.hokudai.ac.jp/>

報 告

「地域中核・特色ある研究大学強化 促進事業（J-PEAKS）」 伴走チームによるサイトビジットが 実施されました

2月6日（木）、同事業伴走チームならびに文部科学省、日本学術振興会の関係者計18名が北大を訪問しました。J-PEAKSは、大学の強みを活かした戦略的経営のもとで研究力を強化するための環境整備を支援し、日本の研究力発展を牽引する研究大学群を形成することを目的とした事業です。北大は令和5年度に「フィールドサイエンスを基盤とした地球環境を再生する新たな持続的食料生産システムの構築と展開」を提案、採択されています。

当日は、北大から取り組みと進捗について説明を行った後、伴走チームと多岐にわたるテーマで意見交換を行いました。その後、総合博物館とスマート農業教育研究センターの視察を実施し、伴走チームからは北大の目指す姿を効率よく体験できたとの感想や、今後の研究への期待が寄せられました。

国内初 中速・中型無人自動配送ロボット の準公道での雪上走行試験に 成功しました

2月15日（土）、北海道大学構内において、同工学研究院機械・宇宙航空工学部門准教授の江丸貴紀氏と京セラコミュニケーションシステム(株)が共同開発した無人自動配送ロボットの雪上走行デモンストラーションが実施されました。このロボットは積雪や降雪環境下での走行を想定しており、積雪による地形の変化にはロボット技術の応用で目の前の状況を判断して経路を再計画しながら走行することが可能となったほか、降雪を障害物と認識して自動停止する課題についても、AIを活用することで降雪ノイズを除去することに成功しています。

ロボットは遠隔監視のもと最高速度15km/hで北大構内を走行し、歩行者を検知して自動で停止する様子も公開されました。江丸氏は、除雪や農作業など他の機械の自動運転にも貢献できるのではないかと期待を語っています。



半導体フロンティア教育研究機構が 設置されました

4月1日(火)、北海道大学は半導体拠点形成推進本部を改組し、同機構を新しく設置しました。本機構では、半導体拠点形成推進本部長を務めた理事・副学長の山口淳二氏が機構長に就任し、「半導体

教育研究開発戦略室」「半導体材料スマート創製部門」「次世代プロセス開拓部門」「次世代デバイス創発部門」「半導体機能解析部門」「次世代応用システム創生部門」を設置、各学内組織とも密に連携しながら半導体教育研究推進機能の強化の実現を目指します。

東 北 大 学

<https://www.tohoku.ac.jp/>

報 告

学生会軟式庭球部が第63回宮城学生ソフトテニス春季選手権大会女子個人戦で49年ぶりに優勝しました

4月5日(土)、宮城野原公園総合運動場宮城テニスコートにて開催され、女子個人のペア2組が、それぞれ優勝および第3位入賞を果たしました。ソフトテニス競技は私立大学が強豪として知られており、同部の女子個人優勝は49年ぶりの快挙です。今後、東北大会と全国七大学総合体育大会(七大大戦)が予定されており、全国大会出場と七大大戦での男女そろっての2連覇を目指しています。

東北大学特別招聘プロフェッサーの飯島澄男氏が2025年King Faisal Prize 授賞式に出席しました

4月14日(月)、サウジアラビアの首都リヤドにて開催され、同賞を受賞した東北大学大学院理学研究科博士課程の修了生で特別招聘プロフェッサーでもある同氏が出席しました。King Faisal Prize

(旧 King Faisal International Prize) は、サウジアラビアのキング・ファイサル財団が授与する賞で、イスラム研究・医学・科学・アラビア文学などの分野において顕著な功績のあった人物に授与されるものです。

飯島氏は、電子顕微鏡を用いた先駆的なカーボンナノチューブの発見により、カーボンナノチューブ分野を確立したことが評価され、科学部門(物理学分野)の荣誉ある賞を授与されました。

「東北大学-インド工科大学ボンベイ校卓越連携機構」設立セレモニーが開催されました

4月15日(火)に開催され、50名以上の出席がありました。同機構は、学術・研究の卓越性の追求により産学共創等を推進することを目的とするプラットフォームとして設立されたものです。当日は、教育・研究・産学共創を柱とした取り組みを進めていくことが共同声明に示され、両大学の代表者が署名を行いました。

東 京 大 学

<https://www.u-tokyo.ac.jp/>

報 告 知

特別展示「FORMOSA —異端の植物学者 早田文藏—

早田文藏(1874-1934)は、新潟県出身の植物学者です。1904年から亡くなるまで東京帝国大学に奉職し、小石川植物

園の第3代園長を務めるとともに、富士山や台湾、東南アジアの植物に関する研究を進めました。特に台湾の植物に関しては、1,600種を超える植物に命名し、「台湾植物学の父」とも称せられますが、独自の学説を提唱し、当時は好意的な評価を得られませんでした。



本特別展では、異端の植物学者とされる早田文藏が残した資料を提示しながら、早田の生涯と業績を紹介します。

期間 開催中～9月5日(金)

時間 10:00～17:00

(入館16:30まで)

場所 [東京大学総合研究博物館](#)

本郷本館 企画展示室

休館日 [開館カレンダー](#)をご確認ください。

入場料 無料

※詳細は [Webサイト](#) をご確認ください。

報告

東京大学“150人委員会”が 始動しました

東京大学は2027年に創立150周年を迎えます。創立150年まで700日となった5月12日(月)、同大学は「東京大学創立150周年記念事業150人委員会」をスタートさせました。委員長には、三井住友フィナンシャルグループ取締役会長で東京大学校友会会長でもある國部毅^{くにべたけし}氏が就任し、委員は卒業生をはじめとして同大学に関わるさまざまなステークホル

ダー164名により構成されます。[150周年記念事業特設サイト](#)に委員からの応援メッセージが掲載されていますので、ぜひご覧ください。

永青文庫所蔵史料(細川家文書)デジタル画像がWeb公開されました

東京大学史料編纂所は、[公益財団法人永青文庫](#)が所蔵する古文書の画像のWeb公開を開始しました。公開されたのは熊本藩細川家に伝来した大名家文書で、全国的にみても規模が大きく、質の高いものとして知られています。今回の対象は、鎌倉・室町期、織豊期の中心的な部分と、江戸前期の一部で、大部分は国の重要文化財に指定されています。特に、肥後細川家の先祖とされる和泉上守護細川家の関係文書は、室町幕府の守護家のまとまった史料として貴重なものです。また、織田信長の発給文書は、一つの所蔵機関に伝来するものとして最多の点数であり、自筆であることが確実な唯一の文書が含まれています。画像は、同編纂所「[Hi-CAT Plus](#)」データベースから閲覧可能です。

名古屋大学

<https://www.nagoya-u.ac.jp/>

告知

第33回特別展「発光生物 裏庭から深海まで―光を操る生き物たち」

光る生物は昔から人に驚きをもたらし、人を魅了してきました。しかし、人がよく目にする発光生物は、世界にいる種ほんの一握りにしかすぎません。発光生物は、海にも山にも、校庭にさえ次々見つかっています。一方、発光生物がどのように光るのか、なぜ光るのかについては、まだわからないことがたくさんあります。

この特別展では、生物発光学の第一人者・大場裕一氏(中部大学応用生物学部教授)の協力のもと、世界にいる発光生物の多様性や仕組み、発光生物と人間の

関わり、発光生物の謎に挑んできた研究者たちを紹介します。

期間 開催中～10月18日(土)

時間 10:00～16:00

(入館15:30まで)

場所 [名古屋大学博物館](#)

休館日 日・月、夏季休館8月9日(土)～18日(月)

入場料 無料

※詳細は [Webサイト](#) をご確認ください。

報告

名古屋大学と信州大学は水の分野に関する先進的な共同研究を推進する協定を締結しました

名古屋大学未来社会創造機構と信州大



学アクア・リジェネレーション (ARG) 機構は、4月1日(火)に協定を締結し、拠点となる「連携分室」を名古屋大学東山キャンパス・グリーンビークル材料研究施設内に設置、同15日(火)に開所式を行いました。「水の惑星」とも呼ばれる地球ですが、資源として活用できる淡水は限られており、生活利用をはじめ農業、医療など多岐にわたる需要をまかなう水は世界的に不足しているのが現状です。両大学は、水の分野に関する課題を大学の研究・技術力で解決し、持続可能な水循環システムの実現と、水素社会への貢献を目指します。

デンキウナギの発電細胞の“できかた” 解明への第一歩となる細胞集団が発見されました

デンキウナギは南米に住む地球上で最大最強の発電生物で、記録された最大電圧は860ボルトに及びます。馬をも気絶させる魚として、18世紀にフンボルトに

よる報告を通じて世界に知られるようになりました。その発電の原理としては、ヒトを含むすべての生き物が持っている「膜電位」と呼ばれる仕組みを増強したものだと考えられています。一方で、細胞が実際にどのような遺伝子の働きで発電細胞へと変化し、高電圧の放電を可能としているかはわかっていません。つまり“かたち”はわかっているものの、“できかた”には未知の部分が多いのが現状です。

名古屋大学大学院生命農学研究科助教の飯田敦夫氏らの研究グループは、東京科学大学およびプリンス・オブ・ソングラー大学(タイ)との共同研究で、デンキウナギ発電器官に存在する未分化様の細胞集団を新たに発見しました。この細胞集団から成熟した発電細胞までは連続的に遷移しており、発電細胞の前駆細胞を含むと推測されます。今後、この細胞で働いている遺伝子を調査することで、発電細胞の“できかた”が解明されることが期待されています。

京都大学

<https://www.kyoto-u.ac.jp/>

お知らせ

数学・数理解析分野での冠教授設置に向けた寄付を募集します

3月26日(水)にノルウェー科学文学アカデミーにより発表された、京都大学数理解析研究所特任教授・高等研究院特定教授である柏原正樹氏の日本人初のアーベル賞受賞を記念し、これまでの同氏の「代数解析学および表現論、特にD加群理論の発展と結晶基底の発見に対する根本的な貢献」を後世まで顕彰するとともに、同氏に続く数学・数理解析分野における国際的に卓越した京大の研究者を支援するため、冠教授設置に向けた寄付を募集します。

※詳細は [Web サイト](#) をご確認ください。

お知らせ

京大大学生存圏研究所の研究者30名が執筆した『京大研究でわかるサステナビリティ』が発売されました

京都大学の附置研究所である生存圏研究所(生存研)は、サステナビリティ(sustainability)科学を標榜する研究組織です。4月4日(金)、生存研で行われているサステナビリティ研究の最新成果を紹介する一般向けの書籍が上梓されました。一般の方にも気軽に手にとってもらえるよう、専門用語の使用をなるべく控え、わかりやすく解説しています。京都議定書の発効から20年の今年、環境未来都市構想を掲げる古都・京都から発信されるサステナビリティ研究の「おもしろさ」「むずかしさ」に、ぜひ触れてみてください。



藤田嗣治の絵画が 京大に寄贈されました

洋画家・藤田嗣治（1886-1968）の作品「猫と少女」が、京大に寄贈されました。日光(株)代表取締役・熊谷京子氏から寄贈されたもので、京大の学生が文化的

教養を育む大きな財産となります。4月21日（月）に贈呈式が執り行われ、京大からはプロボスト・理事・副学長の岩井一宏氏と理事・副学長の稲垣恭子氏が出席しました。

関連 [上村松園の日本画が寄贈されました！](#)（阪大）

大阪大学

<https://www.osaka-u.ac.jp/>

お知らせ

【大阪・関西万博】阪大公式サイトで阪大関連の行事・イベント情報を随時更新中です

4月13日（日）に開幕した大阪・関西万博は、大阪大学の研究者や学生団体、大阪大学発スタートアップのイベントなど見どころ満載です。[阪大公式サイト](#)にて、阪大関連イベント情報が随時更新されますので、ぜひご覧ください。

期間 開催中～10月13日（月・祝）

場所 大阪・関西万博会場（夢洲）

※詳細は [Webサイト](#) をご確認ください。

お知らせ

「大阪大学・日本財団 感染症センター」の竣工式典が開催されました

3月24日（月）に実施され、約120名の参加がありました。本センターは、世界的建築家・安藤忠雄氏が「宇宙船地球号」というコンセプトで設計した研究施設で、阪大と日本財団の共創プロジェクトにより実現しました。西尾章治郎総長（当時）は式典で「世界中から気鋭の研究者が集い、感染症に関する教育研究

を国際的にリードする拠点となること」「次代を担う感染症対策の人材を育成する殿堂となること」を宣言しました。

第1回 SPACE FORUM @ The University of Osaka が開催されました

4月14日（月）、大阪大学と JAXA 宇宙航空研究開発機構等により、吹田キャンパスのセンテラスホールにて開催されました。本イベントは、宇宙分野における技術開発・共同研究を推進するとともに、非宇宙分野の研究の宇宙分野への応用や、個別具体的かつ分野横断的に JAXA 事業への応募へとつなげるきっかけとなることを目的としています。

当日は約150名が参加し、JAXA 宇宙航空研究開発機構宇宙探査イノベーションハブ主任研究開発員・山崎雅起氏による宇宙探査イノベーションハブの取り組み等の紹介や、大学発ベンチャー(株) ElevationSpace COO（最高執行責任者）の宮丸和成氏による設立の経緯や現状の開発状況、検討されている宇宙サービスについての紹介などがあり、各パートで活発な質疑応答がありました。

九州大学

<https://www.kyushu-u.ac.jp/>

お知らせ

2025年度「現代数学入門」公開講座

九州大学大学院数理学研究院および九

州大学マス・フォア・インダストリ研究所（IMI）では、福岡県教育委員会の後援のもと、高校生はじめ一般市民の方に「数学とはこんなにも楽しいものなのだ」



という魅力をお伝えするため講座を開講しています。

日時

8月7日(木)・8日(金)
10:30~12:30、13:30~15:30
両日とも、午前午後の4時間を通して1つのテーマについての講演です。

形態 ハイブリッド(現地・Zoomによるオンライン配信)

場所 [九州大学伊都キャンパス](#)
ウエスト1号館D棟4階
IMI オーディトリウム

演題 「公開鍵暗号と数学」(8月7日)
講師 池松泰彦氏(マス・フォア・インダストリ研究所准教授)

演題 「 $\sin(\theta) + \sin(2\theta) + \sin(3\theta) + \dots + \cos(\theta) + \cos(2\theta) + \cos(3\theta) + \dots$ からわかること ($\rightarrow\infty$)」
(8月8日)

講師 坂本祥太氏(九州大学大学院数理学研究院准教授)

参加費 無料

申込 [Webサイト](#)よりお申し込みください(先着順)。

申込期限 現地参加は8月1日(金)まで
※詳細は [Webサイト](#)をご確認ください。

報 告

THE 日本大学ランキング 2025 で九大が5位にランクインしました

4月3日(木)、イギリスの高等教育専門誌『[Times Higher Education \(THE\)](#)』により発表されました。九大は前回(2023年)から1ランクアップし、国内総合5位という結果でした。

本ランキングは日本の大学における「教育力」に焦点を当てたもので、教育リソース、教育充実度、教育成果および国際性の4分野で構成されており、8回目の今回は257の大学がランキング対象となっています。その中でも、教育成果分野において、九大は特に高いスコアを獲得しており、国内の企業人事および研究

者からの評価が極めて高いことが示されています。

日本の草資源を活用した完全牧草牛の生産および販売が開始されました

九州大学大学院農学研究院准教授の高橋秀之氏、生物資源環境科学府修士課程(研究当時)の村本匠氏らの研究グループは、国産牧草のみで放牧飼養管理した黒毛和種牛の完全牧草牛の販売を開始しました。

近年の畜産では、輸入穀物飼料に依存した生産が中心となっており、不測の事態において日本国内だけでの生産ができなくなる恐れがあります。また、輸入飼料由来の糞尿が日本国内に蓄積することでさまざまな環境問題が引き起こされています。加えて、国内の消費者動向として赤身肉に対する需要が増加している一方、和牛のほとんどは霜降り肉を目指した生産が行われており、需要と供給にギャップが生じています。そこで研究グループは、輸入飼料に依存しない国内の草資源をフル活用した飼養管理および消費者需要に合った赤身肉の生産に取り組んでおり、今回、精肉・加工・販売を行うAddvalue(株)の協力を得て、国産牧草のみで放牧管理した黒毛和牛の販売を行うことになりました。

販売する黒毛和種牛は、生後から広大な草場で放牧を行い、補助飼料として乾草およびサイレージの給与を行った完全なグラスフェッドの和牛で、その肉質は赤身が強く、ほどよい霜降りが入っています。

学生会館閉館に伴い

ハイブリッド講演会

が始まりました!

今後、外部会場での現地参加か、Zoomによるオンライン参加かをお選びいただけます。

詳しくは[本誌39頁](#)をご覧ください。



同窓会案内・開催報告

告知内容は変更となる場合があります。最新情報は各 Web サイトをご確認ください。

北海道大学同窓会

<https://www.alumni-hokudai.jp/>

告知

「北海道経済を活性化させるためのプラン」を募集します

賞金 最優秀賞 10 万円、優秀賞 3 万円、審査員賞 2 万円

応募資格 北大経済学部 1～4 年、同経済学院修士 1・2 年在籍の方

応募方法 [チラシ](#)をご確認の上、Word ファイルにて企画書をメール送付してください。

応募期限 10 月 14 日 (火)

主催 北大経済学部同窓会

※詳細は [Web サイト](#)をご確認ください。

報告

北大関西同窓会 第 30 回歴史ウォーク「郡山城 (大和国)・城下町探訪」が開催されました

3 月 30 日 (日)、奈良県大和郡山市で開催され、2026 年放映予定の NHK 大河ドラマ『豊臣兄弟!』を前に注目を集める豊臣秀長 (1540-1591) ゆかりの地を巡りまし

た。観光協会のガイドで、秀長の墓所や菩提寺、町家、神社など 5 カ所を回り、郡山城跡の桜も観ることができました。ちょうど「大和郡山お城まつり」も開催中で、城内は多くの観光客で賑わっていました。

北海道開拓の村「旧恵迪寮舎」展示リニューアルオープンセレモニー&観桜観花会が開催されました

4 月 26 日 (土)、北海道開拓の村にて開催され、雨天で肌寒い中、多くの参加がありました。当日、札幌の街中では桜が開花していましたが、旧寮舎前に植樹された桜はまだつばみでした。悪天候のため、予定されていた屋外での寮歌斉唱を屋内に移動して行いましたが、北大理事・副学長の高橋彩氏や北海道博物館、開拓の村指定管理者である北海道歴史文化財団関係者、恵迪寮自治会の現役寮生らを迎え、祝辞やテーブルカット、記念撮影などのセレモニーが無事に執り行われました。セレモニー後、開拓の村レストランでの昼食会となり、食事しながら親睦を深めました。

東北大学同窓会

<https://shuyukai-tohoku-u.net/>

告知

東北大学フォーラム 2025 in 東京

日時 7 月 12 日 (土) 15:00～19:00

形態 ハイブリッド (現地・Zoom によるオンライン配信)

場所 ステーションコンファレンス東京

演題 「東北メディカル・メガバンクと未来の医療への挑戦」

講師 山本雅之氏 (東北メディカル・メガバンク機構長、東北大学特別榮譽教授)

演題 「新たな人文知の創造へ～統合日本学の取り組み～」

講師 加藤諭氏（統合日本学センター副センター長、東北大学史料館教授）
対象 どなたでもご参加いただけます。
参加費 無料（懇親会は有料）
申込 [専用フォーム](#)よりお申し込みください。
申込期限 7月6日（日）／定員に達し次第、受付を締め切ります。
※詳細は [Web サイト](#)をご確認ください。

報告

東北大学薬学同窓会講演会
第8回「グローバル薬学人講座」が
開催されました

4月4日（金）、学部新入生向けの対面形

式と、2年生以上向けのオンデマンド形式によるハイブリッド形式で開催されました。講師に薬理学分野教授・佐々木拓哉氏（45回生）を迎え、ご自身の脳科学研究を起点に、AIの話題や、アメリカ留学とネパール・中国出張を通じて得られた気づきなど、多角的かつ奥行きのあるお話をいただきました。新入生たちも熱心に聴き入っており、活発な質疑応答が行われました。

「学士会会員証」
を
ご利用ください



東京大学同窓会

<https://www.u-tokyo.ac.jp/ja/alumni/alum-community/>

告知

関西東大会 令和7年夏の講演会

日時 8月31日（日）15：00～講演会
17：00～懇親会

場所 [ホテルグランヴィア大阪](#) 20階

演題 「大阪弁とはどんな言語か（仮題）」

講師 金水 敏氏

（放送大学大阪学習センター所長）

※詳細は [Web サイト](#)をご確認ください。

報告

Life in Green プロジェクト「小石川
植物園お花見会」が開催されました

3月31日（月）、休園日の小石川植物園にて、東京大学附属「小石川植物園」「日光

植物園」を整備するためのクラウドファンディング「[Life in Green プロジェクト](#)」への寄付者を招き、貸切で開催されました。園内の桜はちょうど満開を迎え、参加者は春の訪れを満喫しました。

午前中には園長・川北篤氏と研究室メンバーによる園内ツアーが実施され、それぞれの研究テーマに沿ったツアーは理学部の講義のようでした。日光分園長の種子田春彦氏は桜の生態について解説し、参加者から多くの質問が寄せられました。また、好評の「本館ツアー」では、寄付金によって購入された機器が紹介されたほか、雨漏りの続く研究室の現状も共有され、参加者は支援の意義を再認識していました。

名古屋大学同窓会

<https://www.nual.nagoya-u.ac.jp/>

告知

名古屋大学数理科学同窓会
第11回「アクチュアリー同窓会」

毎年、金融・保険関係職のOB・OGが25名ほど参加します。アクチュアリーに興味のある学生の参加を歓迎します。

日時 7月18日（金）19：00～21：30

場所 ニホンバシイチノイチノイチ
（東京都中央区日本橋）

参加費 学生は無料（OB・OGは9,000円）

参考 前回の様子は、[Newsletter Vol. 51](#)をご覧ください。

※詳細は [Web サイト](#)をご確認ください。



名古屋大学共晶会関東支部 第40回総会

日時 10月4日(土) 11:00~14:00
場所 [GASSE貸切×ダイニングバー](#)(目黒)
講師 [あいばしげお](#) 相羽繁生氏(共晶会会長、(株)東郷製作所代表取締役社長)

参加費 5,000円

※詳細は [Webサイト](#) をご確認ください。

第116回 名古屋大学医学部学友会

日時 10月11日(土) 14:15~
場所 [名古屋観光ホテル](#) 2階 曙の間
(懇親会は3階那古の間)
演題 「なぜ骨髄のみが血液・免疫細胞を造れるのか？」

講師 長澤^{たかし}氏(昭62医、大阪大学大学院医学系研究科/生命機能研究科/医学部教授)

懇親会 歌唱 本多信明氏
(平26医、テノール)

参加費

教授・准教授・講師・助教 14,000円
同伴者・非常勤医員・研究生・大学院生 7,000円

申込 [Webサイト](#) をご覧の上、医学部学友会事務局までご連絡ください。

申込期限 8月31日(日)

備考 大会誌「大会出席者」欄への掲載は、7月21日(月・祝)お申込みまで。
※詳細は [Webサイト](#) をご確認ください。

京都大学同窓会

<http://hp.alumni.kyoto-u.ac.jp/>

告知

京大機械研究会 OB・OG 会主催 30周年大会

日時 7月12日(土) 15:30~20:00
場所 京都大学時計台記念館2階 会議室Ⅲ(懇親会は叡電元田中駅「天寅」)

参加費 講演会無料、懇親会6,000円

申込 [Webサイト](#) をご確認の上、メールでご連絡ください。

申込期限 定員に達し次第、締め切ります。

※詳細は [Webサイト](#) をご確認ください。

報告

京都大学附属図書館に寄付型飲料自動販売機が設置されました

この自販機は、(株)伊藤園の社会貢献事業として提案されたもので、毎月の売り上げのうち10%が京都大学基金に寄付されます。売れ筋と季節によってラインナップを変更することで、学生の利便性を向上させるとともに、学生が手頃に始められる寄付として周知を図り、寄付文化の醸成につなげるため、京大附属図書館の玄関前に設置されました。寄付金は、学生や研究者の活動支

援や教育研究環境の整備等に活用されます。飲み物1本からできる支援のカタチです。ぜひご利用ください。

京都大学経営管理大学院2024年度 修了記念春季イベント「GSM DAY 2025」が開催されました

3月23日(日)、京都大学時計台100周年記念館2階国際ホールにて開催され、教職員、同窓生、修了生、現役学生など、海外からの37名を含む156名の参加がありました。当日は、同院長で教授の澤邊紀生氏の挨拶と乾杯の発声に始まり、特定講師のAlexandra Carst氏らや優秀修了生らによるスピーチ、日本文化紹介として祇園祭長刀鉦祇園囃子保存会による祇園囃子披露、退職教員への花束贈呈、および立食形式のレセプション・パーティーがありました。

◆◆◆ 学生会メールマガジン ◆◆◆



学生会と学生会館の最新情報をお届け!
豪華! 読者プレゼント企画もあります。
学生会会員以外の方も、ぜひご登録ください。



報告

大阪大学薬学部 17 期同窓会が
開催されました

4月24日(木)、ホテルグランヴィア大阪で2年ぶりに開催され、16名の参加がありました。当日は食事を楽しみながら歓談し、三浦貞彦氏からのメッセージの披露と、それぞれの近況報告がありました。北澤恵子氏が用意した今までの集合写真や、17期有志の万葉の旅などをまとめたアルバムも回覧され、懐かしく当時を偲びました。2年後開催の次回を最後の同窓会にしたいという提案が出ましたが、参加者からは1年後に開いてほしいとの要望もあり、また来年開催するはこびとなりました。集合写真の後、再会を願って散会しました。

大阪大学ホームカミングデイ 2025
が開催されました

5月3日(土・祝)に豊中キャンパスで

開催され、大阪大学・大阪外国語大学の卒業生・修了生と在学生、保護者、教職員など約250名の参加がありました。

大阪大会会館での講演会では、熊ノ郷 淳 総長からの阪大の近況報告に始まり、人文学研究科教授・門脇むつみ氏「大阪大学が受け継ぐなにわ町人の学問所・懐徳堂伝来の宝物」、工学研究科教授・丸山美帆子氏「地球科学・結晶工学・医学の融合 ME-TEOR Project—心の壁をのりこえながら—」、医学系研究科教授／ヒューマン・メタバース疾患研究拠点拠点長の西田幸二氏「幹細胞医療の将来性とインパクト—ヒューマン・メタバース医学を拓く」と題したお話がありました。

会場を学生交流棟カフェテリア「かさね」に移して行った交流会では、総合司会の上田悦子氏(平12人間科学)による参加者へのインタビューも行われ、盛況のうちに終了しました。

九州大学同窓会

告知

九州大学 CEO クラブ総会

日時 7月25日(金) 16:30~19:30

形態 ハイブリッド(現地・Zoomによるオンライン配信)

場所 [東京ミッドタウン](#)
[八重洲カンファレンス](#)

※詳細は [Web サイト](#) をご確認ください。

報告

九州大学女子卒業生の会「松の実会」
総会・講演会が開催されました

2月16日(日)、九州大学西新プラザで2年ぶりの対面形式にて開催され、約50名の参加がありました。総会では、任期を終える会長の佐々木圭子氏が活動報告を兼ねた挨拶を行い、来賓を代表して九大理事・

副学長の園田佳巨氏から挨拶をいただきました。講演会では、福岡市科学館館長で九大名誉教授の矢原徹一やばらてつかず氏が、「花の神を探す旅」と題して、九大糸島キャンパス移転の際の環境を壊さない移転計画の経緯や、執筆中のファンタジー小説について語られました。終了後の立食形式の懇親会では、参加者同士が自由に食事と歓談を楽しみ、久々の再会を喜び合いました。

令和6年度 甲午会優秀学生表彰の
授与式が行われました

3月25日(火)に実施され、令和6年度は4名の卒業生が表彰されました。九州大学工学部電気系同窓会・甲午会では、電気工学、電子工学、情報工学の分野で将来の活躍が期待される極めて成績優秀な卒業生を選出し、学位記授与式で表彰しています。



第 27 回関東支部総会 特別講演

2024 年 11 月 9 日（土）ハイブリッド形式（学士会館 302 号室・Zoom）

Contents

- 講演 1 植物生産科学分野における持続型農業の実現への取り組み
（中園 幹生）
- 講演 2 [人身売買と「無意識のバイアス」](#)（玉井 桂子）
- セコシア会第 27 回総会でのご講演を元に、新しくご執筆いただいた内容です。

講演 1 植物生産科学分野における 持続型農業の実現への取り組み

なかぞの みきお
 中園 幹生

名古屋大学大学院生命農学研究科 研究科長
 農学部 学部長・教授



はじめに

現在、世界の人口は 80 億人を超え、今後十数年以内に 90 億人に達すると予測されている。この人口増加に伴い、食料生産のさらなる拡大が求められている。しかし、近年の気候変動による高温、干ばつ、豪雨などの異常気象の影響によって、作物の収量減少や生産物の品質低下が生じており、このような状況は食料の安定供給に対する懸念を一層強めている。また、近年の肥料価格の高騰も農業にとって重大な課題となっている。肥料は作物の成長に不

可欠な要素であり、安定した食料生産には欠かせない。しかし、化学肥料の価格が急上昇していることは、特に小規模な農家にとって大きな経済的負担となっており、この価格高騰によって農業の収益性は低下し、農家の経営が圧迫される事態が発生している。さらに、日本国内では農業従事者の高齢化が進んでおり、農業の後継者不足が深刻な問題となっている。この状況が続けば、持続的な農業経営が困難となり、将来の食料供給に対する不安が広がることが予想される。

これらの課題を克服するためには、持続型農業の推進が急務である。持続型農業とは、環境への負荷を最小限に抑えつつ、長期的に安定した食料供給を実現する農業の形態を指す。本稿では、2024年11月9日に学学生会館で開催された名古屋大学農学部・生命農学研究科同窓会（セコシア会）関東支部主催の特別講演での発表内容をもとに、「植物生産科学分野における持続型農業の実現への取り組み」について概説する。これには、筆者の研究をはじめ、名古屋大学大学院生命農学研究科の教員が行っている研究の一部も含まれている。

持続型農業の推進に向けたバイオスティミュラントと土壌マイクロバイオーム（土壌微生物叢）の活用

化学肥料や農薬に依存する従来の農

業手法には限界があり、環境への影響や土壌の劣化などが懸念されることから、持続型農業に向けた新たな技術として、バイオスティミュラントや土壌マイクロバイオーム（土壌微生物叢）の活用が注目されている。

バイオスティミュラントとは、作物の成長を促進し、ストレス耐性を高めるための天然物や生物由来の物質の総称であり、肥料、農薬、土壌改良剤に続く第4の農業資材として位置付けられている（図1）。バイオスティミュラントは、植物に作用させることで、植物が本来持つ力を最大限に引き出し、光合成能の向上、発根の促進、耐病性の向上などが期待される。植物病理学研究室の竹本大吾教授は、甲殻類や植物の細胞壁由来のオリゴ糖を配合したバイオスティミュラントを開発しており、このオリゴ糖バイオスティ

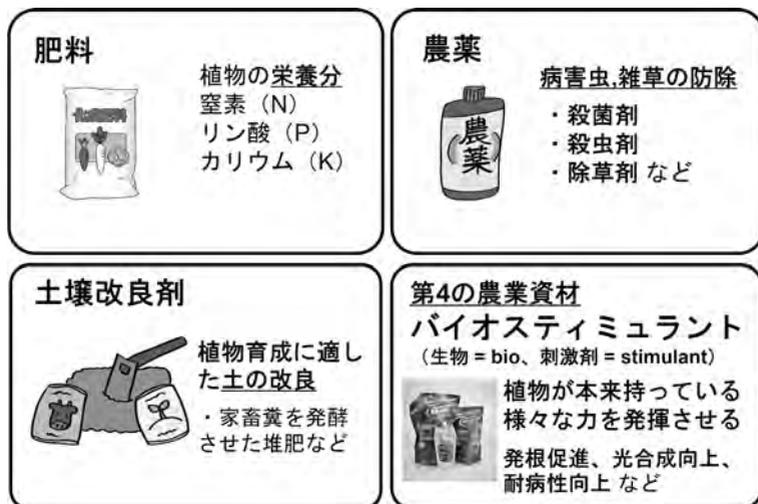


図1



ミュラントを処理した作物では、耐病性の向上や発根、成長促進の効果が確認されている。例えば、温室での栽培試験では、トマトやオクラの収量が10~20%増加する結果が得られている。バイオスティミュラントは、一般的に環境負荷が低いため、化学肥料や農薬の使用を減らすことが可能となり、持続型農業への寄与が期待される。

土壌マイクロバイームは、土壌に存在する多様な微生物群集を指し、栄養素の供給、病害の抑制、土壌構造の改善などを通じて作物の成長に重要な影響を与える役割を担っている。根とその近傍の土壌環境である植物根圏は、土壌微生物と植物が相互に影響を与え合うホットスポットであり、土壌微生物の一部は、植物と共生しながら、植物の生育を支えている。耕地情報利用研究室の村瀬潤教授によると、水田では施肥と同等の窒素量が微生物バイオマスを経由して土壌から供給されることが知られており、水田の微生物が土壌の地力を高める重要な役割を果たしている。水田では、さまざまな微生物が共生し、全体として水稻に必要な栄養を供給している。例えば、水稻の根に生息する窒素固定微生物が、植物にとって最も重要な栄養素である窒素を供給することにより、施肥量の削減が期待される。したがって、水稻の根におけるマイクロバイームの機能や動態を理解することは、微生物の機能を活用した低施肥型的水稻生産を実現するために不可欠である。

このように、バイオスティミュラン

トと土壌マイクロバイームの活用は、農薬や化学肥料の使用を減少させることで、環境負荷の低減や作物の生産性向上を実現する。この結果、農家の経済的負担が軽減され、持続型農業の推進において重要な役割を果たす。

持続型農業の推進に向けた データ主導型農業の実施

持続型農業の推進には、労働の軽労化に繋がる機械技術だけでなく、ドローンや人工衛星を活用したリモートセンシング技術、また人工知能（AI）などを用いたデータ主導型農業システムの導入が不可欠である。広域の圃場を効率的に管理する必要のある大規模農業経営や技術面に不安のある新規就農者にとって、効率的かつ精緻な作物の管理を可能とするリモートセンシング技術やAIの利用は、単収や生産の安定性の向上に繋がると期待されている。また、作物の状況を判別するための画像解析技術は、農業用トラクタに搭載する可変施肥システムなど、省力化と効率化を目的とする機械技術の開発において不可欠である。耕地情報利用研究室の西内俊策助教は、データ主導型農業の実施を支援するため、リモートセンシング、画像解析、深層学習、植物生理モデルなどを組み合わせ、農業現場で実用可能な技術の開発に取り組んでいる。これにより、農業現場において最適な栽培管理が可能となり、コスト削減、環境負荷の軽減、収穫量の安定化といった成果が期待される。



環境ストレス耐性作物の育成

上述のように、近年、気候変動によりさまざまな異常気象が頻発しており、これらは作物の成長や収量に深刻な影響を与えている。そのため、環境ストレス耐性を強化した作物の開発は、持続型農業を推進するために重要である。

特に日本を含むアジア地域では、今後、集中豪雨や大雨による洪水などが深刻化すると予測されている。水稻を除く主要作物は、土壌が過湿状態になると根が酸欠になり、生育不良を引き起こし、最終的には収量の低下を招く。過湿土壌で作物が障害なく生育するためには、植物組織内で酸素供給に関与する細胞間隙である「通気組織」や、根の通気組織から放射方向に酸素が漏

れないようにする「酸素漏出バリア (Radial Oxygen Loss (ROL) バリア)」の形成が重要である。これらの形成によって、根端への効率的な酸素供給が可能となり、過湿環境でも作物が健全に成長できる。筆者は、通気組織と ROL バリアの形成機構の解明に取り組み、それらの形質を導入することで、コムギやトウモロコシなどの畑作物の耐湿性向上を目指した研究を行っている (図 2)。今後、さまざまな環境ストレス耐性を強化した作物を育成することは、気候変動への適応を促進し、農業の生産性を持続的に向上させるための重要な一歩となることが期待される。

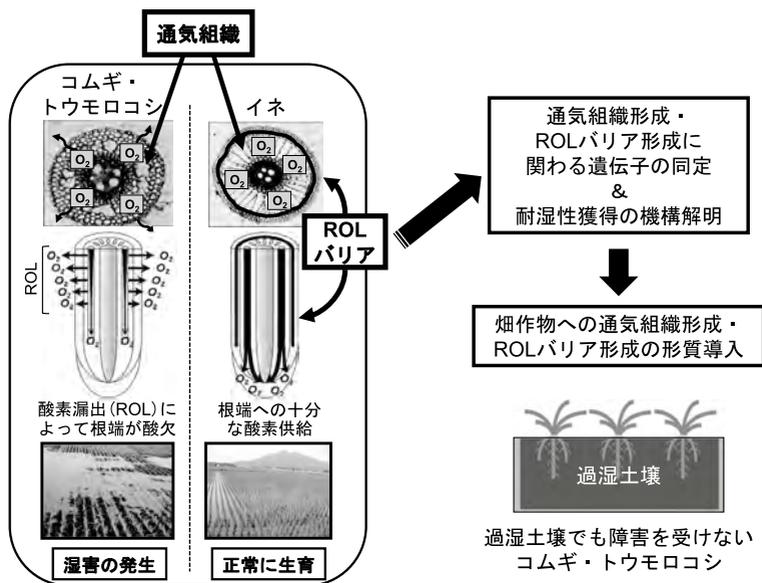


図 2



今後の展望

持続型農業を実現するためには、従来の農業手法を見直し、データ主導型農業などの新しい技術を取り入れる必要がある。また、バイオスティミュラントや土壌マイクロバイオームの活用、さらには環境ストレス耐性作物の育成

などは、持続型農業の実現に向けた有望なアプローチであり、今後ますます重要な役割を果たすと考えられる。これらの技術を効果的に活用することで、環境保全と食料生産の安定を両立させ、持続可能な農業の未来を築くことが期待される。

講演 2 人身売買と「無意識のバイアス」*

たまい けいこ
玉井 桂子

元国際協力団体職員

*講演時の演題「報道の職場と国際協力事業（ジェンダー視点を含む体験）」

はじめに

私は筑波大学を経て、名古屋大学の大学院農学研究科で家畜繁殖学を専攻。1985年に博士課程前期を修了後、神奈川新聞記者、『週刊朝日』委嘱記者、ニューヨークタイムズ東京支局リサーチャーなど、職歴の前半を報道分野で働いた。後半はアメリカに本部を置く国際組織などで、アジア圏の途上国を対象としたODA（政府開発援助）の分野でプログラム・ディレクターとして働いた。海外赴任を含め、通算20年余りを英語が公用語の職場で過ごした。本稿で論じる人身売買の問題に私が取り組むようになったのは25年前に遡る。

人身売買と現代社会

人身売買：Human Trafficking（人身取引ともいう）は国際的な組織犯罪

である。人間の弱みにつけ込んで、脅して、ヒトを売り買いして「搾取」する。

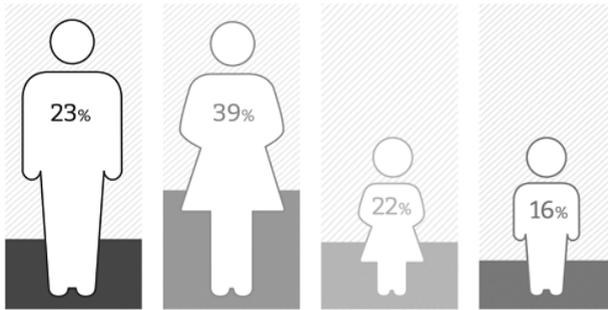
[UNODC（国連薬物犯罪事務所）の統計](#)によると、人身売買の被害が確認されている地域は、世界人口の65%を占める135カ国に及ぶ。人身売買は途上国に限られた問題ではなく、先進国でも発生している。被害者の大半は、女性と子どもに分類され、彼らは主に性的搾取と労働搾取の被害にあっている。（図1）

被害者がどのような搾取形態に追い込まれているのかは、世界の各地域により異なる。（図2）

被害の多様化は、現代の人身売買の特徴だ。従来から存在する形態は、途上国の貧困層の女性や女兒たちが、自らの意思に反して、売春宿に売られていくという構図で、被害者像が明白な形で存在した。しかし、現在では、性



Fig. 24 Share of detected victims of trafficking, by age group and sex, 2022 (or most recent)*



出典：UNODC Global Report on Trafficking In Persons 2024, p.39

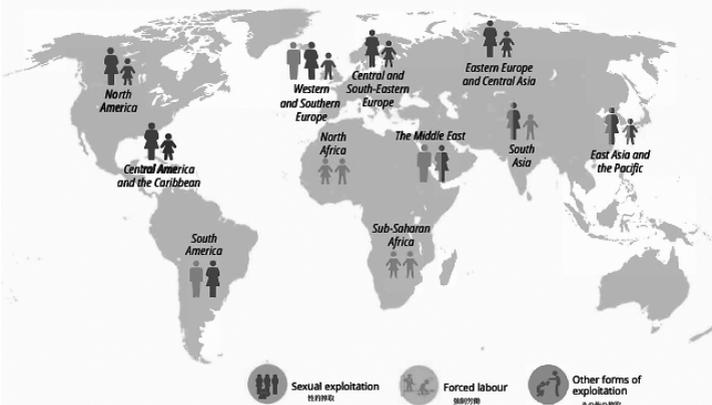
Source: UNODC elaboration of national data.

* Extrapolation based on a total of 68,090 victims detected in 135 countries in 2022 (or more recent), comprising 65 per cent of the world population, reporting on this indicator.

図1 世界の人身売買被害者における男女と子どもの割合

出典：UNODC Global Report on Trafficking In Persons 2024, p. 39

Map.4 Main detected victims and forms of exploitation



Source: UNODC elaboration of national data.

出典：UNODC Global Report on Trafficking In Persons 2024, p.46

The boundaries and names shown and the designations used on this map do not imply official endorsement or acceptance by the United Nations.

図2 人身売買被害が明らかになっている主な地域と搾取形態

出典：UNODC Global Report on Trafficking In Persons 2024, p. 46



的搾取から、労働搾取、強制結婚、家事労働、臓器売買、詐欺ビジネスへの加担強要など、多様な被害をもたらす人身売買の形態が存在する。

日本は性産業への人身売買の受け入れ国で、1980年代から東アジアや東南アジア、続いて南米や東欧圏の国々から女性たちが日本へ送り込まれてきた。だが、被害実態が明らかになることは希だった。多くは非正規滞在者として摘発され国外退去となるからだ。

これらの問題に対して、日本は2003年に国連の国際的な組織犯罪の防止に関する国際連合条約を補足する人、特に女性および児童の取引を防止し、抑止し、および処罰するための議定書（[国際組織犯罪防止条約](#)）に署名し、2017年に締結に至ったのだが、その間の国内法整備と被害者支援への施策が課題だった。

当時の私の仕事は、送り出し国側の同僚たちと連携し、日本での被害者の駆け込み寺となっていた関連国の大使館の協力を仰ぎ、人身売買防止と被害者を支援するプロジェクトの運営を担うことであった。2005年の刑法改正審議では、国会へ参考人として招致された。それまでは、日本から海外への人身売買を罰することはできても、海外から日本への人身売買を罰する法がなかった。

暴力と社会構造

性産業のほかで貧困層の女性たちが働ける場は限られていた。「売買春は古来あるから仕方がない」という声も

よく聞いたが、売買春の是非と人身売買の果ての「搾取」は違う問題である。私の仕事は、「構造的な問題を打開する」ことが目標だった。社会事業に関心がある日本の投資家から資金調達して、女性の経済的な自立を促すための支援プログラムや施設を送り出し国側に作った。

プロジェクト運営に奔走していた当時、インターンとして共に働いてくれた島崎裕子氏が後に社会開発分野の研究者となり『[人身売買と貧困の女性化 カンボジアにおける構造的暴力](#)』という本を書いているので、ぜひ読んでほしい。被害女性たちがいる農村奥地へ赴き、彼女たちやその家族、現場から拾いあげる声の強さと問題の深さ。それは、まさに現場から見えてくるものなのである。

本著によると、現代における途上国の農村地域の貧困層の女性や女兒に対する人身売買は、現代社会における構造的暴力であるという。

構造的暴力により、社会構造から幾層にもわたる暴力が、社会の末端におかれる人々に向けられ、この社会の周縁におかれた人々は、多様な搾取にさいなまれる。その構造を支えているのは、私たちの社会でもあるのだ。私たちの社会に埋め込まれている無関心という暴力である。

「無意識のバイアス」とジェンダー

人身売買被害者たちの出身社会において、「女性だから」という性規範が存在する。前述した人身売買被害者



の被害率を見ても一目瞭然だが、女性被害者がなぜ多いのか。それは「女性が家族のために自己を犠牲にして働き、家族を養う」という規範が存在することによる。この「家族を養うために」という意識は、彼女たちを人身売買へと押し出す要因の一つだ。

この性規範は、社会全体に存在し、当事者のみならず加害者側にも存在することを忘れてはならない。女性を商品として「買う」ことへの無意識の言動である。

意識せぬまま固定観念や偏見に根ざした思い込みにとらわれる。これを「無意識のバイアス：Unconscious Bias」という。

私たちの日常にも目を向けてみよう。1980年代半ば男女雇用機会均等法が施行された頃を思い出してほしい。女性たちは、「働く女性として」という前置きで意見を求められることが多かったのではないだろうか。セクハラ（セクシャル ハラスメント）という言葉もまだ日本に浸透していなかった時代だ。当時の女性たちは、“働く女性”なのだから、「男」のように「男らしく」振る舞わなければならないと。無意識のうちに女性たちも、自分にバイ

アスを向けていた。恥ずかしながら、私もその一人であった。

時代の流れと同時に、多様な生き方や、ジェンダー（性や性自認）のあり方が受け入れられつつある。性差があるから生き物であるヒトは生殖できる。だが、それだけが生きる目的ではない。どのように生きるのか。

強者や弱者、支配と従属といった価値観は、現代においては化石になりつつある。しかし、無意識の性の支配は未だ存在する。この性の無意識の固定化は、人々を生きにくくするばかりか、偏見と差別を生む。ある生き方から逸脱した者を弾き出す社会は、全ての人を生きにくくさせ、個々を尊重しあえる日常から遠のく。誰もが平等に機会を得られるために、どうすればよいのか？

おわりに

自身の無自覚なバイアスが平等な機会をもたらす妨げとなる。それに気づくことが大切だと考える。見て見ぬふりは、無意識のバイアスに甘んじてしまうということだ。どこに生きても、自身を振り返ることはできる。より生きやすい未来のために。

第 27 回関東支部総会については、[名古屋大学農学部・生命農学研究科同窓会（セコイア会）](#) [関東支部 Web サイト](#) をご覧ください。





朝倉市応援サポーター

代議員／学士会 YELL の小原です。普段は学士会 YELL の活動の様子を紹介することが多い私ですが、今回は少し毛色の異なる紹介をしたいと思います（ゆくゆくは学士会 YELL が運営する、若手茶話会の一つである学士会ミニプレゼン会で登壇しようと思っているので、全く関係のない話題ではありません）。

唐突感があると思いますが、私、小原は、令和7年からの新たな挑戦として、「朝倉市応援サポーター」としての活動を行うことにいたしました。福岡県にある朝倉市は、もしかしたらご存知ない方もそれなりにいらっしゃるのではないのでしょうか。かくいう私も、応援サポーターを拝命するまでは詳しく存じませんでしたし、ふるさと納税でその名を初めて知りました。

要するに生まれでも育ちでもなく、関わりも全くなかった私が応援サポーターを拝命して活動していることになります。そのきっかけは前述のふるさと納税でして、市から送られてきた納税関連の書類に応援サポーターのお誘いが同封されていたのです。お誘いには、応援サポーターの対象として、朝倉市に居住されている（されていた）方、訪れた方に加えて、ふるさと納税で朝倉市を知ったという方も記載されていました。なんと懐の深い制度かと感嘆するとともに、市にとっても挑戦であろうから、私も挑戦してみようと思いついて登録してみました。

応援サポーターとしての活動内容は、SNS での情報発信やイベント等への参加なのですが、当然本稿を『NU7』に掲載いただいているのもその活動の一環に当たる訳です。

ただ、活動を行うにしても訪問したことがなければ相当限定的な活動になってしまうと思い、朝倉市を訪問、観光して目一杯楽しんでみることにしました（まんまと市の恩恵に乗せられた訳です）。

レンタカーを借りて見どころを複数回りましたが、同市は「水もしたたるいいところ」を標榜しているだけあり、見晴らしのよいダム湖や親水施設、農業用の立派な水車など、観光スポットが多々ありました。実は朝倉市にはキリンビール福岡工場があり（今回の計画を立てた際に知りました）、それも「水もしたたるいいところ」たるゆえんかと思い、お邪魔してきました（もうお気付きかもしれませんが、私がふるさと納税でお世話になっているのもこちらの工場です）。

また、温泉好きの私としては、宿泊先のビジネスホテルの大浴場が温泉であったのも非常にうれしい点でした（しかも全国屈指の泉質ではないかとの印象を受けました）。車で少し走ると、原鶴温泉があり、眼下に見下ろす絶景とともに楽しめます。地元の方曰く、高速道路ができてからは簡単に別府などの有名温泉に行けるようになったため、素通りされてしまってさみしいとのことでしたが、私は今回朝倉市に焦点を絞って旅行して得たなとうれしくも思いました。

後日早速 Instagram での発信を開始したところ、朝倉市でのイベントを企画しているフォロワーの方からご連絡をいただき、その方と朝倉市や地方創生についてカフェで語り合うこととなりました。これも応援サポーターを拝命したおかげと感謝するとともに、11月にそのイベントに参加するため、朝倉市を再訪します。

私が発信している情報は[こちら](#)にて紹介していますので、ぜひご覧いただけたら幸いです（朝倉市以外の投稿も含まれておりますこと、ご容赦いただけたらと存じます）。

（小原太 会員・代議員・学士会 YELL 運営委員 東大・工修・工・平 16）



生で聞いてよかった！ 3月のミニプレゼン会の感想

私はもうすぐ「若手」とは言えなくなる年齢で司法試験に合格してから、その記念に学士会に入った者です。だから学士会 YELL には、せめて年齢制限が許される限りまで積極的に関わりたいと思っています。

さてそんな私に、藤原大豊先生が新著『サブスク会計学』の入門に当たるような発表をされるとの情報が入ってきました。

最初にメールを読んだ時点の私は、恥ずかしながら藤原先生の名前すら知りませんでした。しかし「サブスク」という言葉が緩やかな定義のまま世間で流行しており、それが時として私が弁護士としてこれから増やしていく予定の「顧問契約」とも深い関わり合いがあることまでは、辛うじて知っていました。そこで「何かの参考になるかもしれない！」と現地での聴講を表明しました。

学士会館が再開中のため、発表の場は秘密のアジトのようなビルの一室でしたが、そのことで非日常感を味わえました。

藤原先生の発表は、内容よし、話す順番よし、時間配分よしで、プレゼンの見本のような見事なものでした。普段から学生と真摯に向き合っているからこそその技量なのでしょう。

まずは会計の知識が多少ある人には放漫経営にも見えるような決算を見せて聴衆の興味をわかせる、なぜそんなものがステークホルダーに容認されることもあるのかを数学的に説明していくことで、サブスクビジネスの何たるかを大まかに説明し、最後にそれ以上の知識が欲しい人には新著のどこを読めばいいのかを軽めに語ってくれました。

その後の昼食会では、発表の内容と関係の深い多様な体験談を参加者全員から聞きました。ここでも大いに勉強になりました。

月並みですが、「現地まで聞きに来てよかった。昼食会にも参加して本当によかった！そして未来の若者たちにも今日の私と同じ利益が行き渡るよう、若手茶話会は伝統化して欲しい！」という感想を持ちました。

(溝口梓里 会員 東大・文修・文・平 26)



～北大職員×東大職員×GENERYS×学士会 YELL～ 北大卒業生が創業した ClaGla のボードゲーム “どっちぼーい” を みんなで体験しよう を開催いたしました

札幌で昨年開催された NoMaps2024 でも大盛況だったボードゲームが 2025 年 5 月に学士会館の近くに上陸しました。今回は通常版の “どっちぼーい” と有志の大学職員が大学職員あるある？な質問にカスタマイズした “大学職員どっち” を体験できる貴重な機会となりました。

“どっちぼーい” は「YES? NO? あなたはどっち? 性格診断チャート×賭けゲーム」「友達、家族、はじめましてでもっと知れる、仲良くなれる!」「全部で 324 問! 驚異の質問数で何度でも新しい体験を」をキーワードとするボードゲームで、社員研修にも使われています。学士会 YELL が主催した本企画では、ボドゲ好きな方、職場でもっとコミュニケーションを取りたい方、大学の職員に体験していただきました。特に “どっちぼーい” というツールを通して、七大学の職員同士が学士会をハブとして強く繋がることを今後の目的として、学士会 YELL の谷藤、NoMaps で協働した北海道大学職員の内藤輝章氏、七大学・学士会合同遺贈寄付セミナーで協働した東京大学職員の平野尚也氏、学士会職員の村松健一 MGR の 4 名が GENERYS を通して繋がり実現しました。

会場は [GENERYS](#) の本拠地である Kanda クラウドを特別に貸切りました。ゲーム中は想像以上に盛り上がり、ゲーム終了後も参加者同士で飲み物を片手に会話が弾んでいました。大阪大学の職員の方も参加してくれた本企画は非常に好評で、次回開催が決定いたしました。私の本拠地に北大の仲間が北海道から来てくれたこと、そこで多くの新しい繋がりが生まれたこと、そして参加して下さった皆さまが楽しんでくれたことが本当に嬉しかったです。

最後になりますが、当日の運営を手伝って下さったデジタルハリウッド大学事務局の小野妙子氏、告知に協力してくれた学士会 YELL/学士会代議員の小原太氏、GENERYS の若松弘之氏、そして、この企画に関わって下さった全ての皆さまに心から感謝いたします。

※ “どっちぼーい” は [ClaGla](#) の商品です。



(谷藤公貴 会員・代議員・学士会 YELL 運営委員・学士会 Web サロン代表
北大・看護・平 23)



会員著作物紹介

『盟邦タイよ、日本を見よ！ 「大東亜戦争」期、日本の宣伝戦と対外商業広告』

タイは、帝国主義下のアジアにおいて独立を貫いた稀有な国である。「大東亜共栄圏」確立を目指す日本は、独立国タイに向けて、様々なメディアを駆使した宣伝活動を展開した。本書は、日本がタイに向けて発行した宣伝グラフ誌等の分析を通して、宣伝や広告の訴求先や特徴を明らかにし、日タイ双方の視点から「大東亜戦争」の姿を見つめ直そうとしたものである。

(加納寛 会員 名大・文博・文修・文・平5)



あるむ



3DCG モデル
バーチャルツアー
復元 CG
公開中

学士会館デジタルアーカイブ

Gakushi Kaikan Digital Archive


クリック！



Web版『NU7』では、原稿を正会員・学生会員の皆様から募集しています。会員以外の方にもWeb公開中です。たくさんのご投稿をお待ちしています。

表紙写真

- ・写真のテーマは自由、2122ピクセル×2977ピクセル以上のカラー・縦位置の写真を希望しています（冊子サイズはA5判・天地210mm×左右148mm）。
- ・目次頁に、「撮影場所・ご希望のタイトル・氏名・出身大学・学部・卒年」を掲載いたします。

会員通信

会員著作物紹介	著作名・著作者・紹介文（200字以内）・著作物表紙写真をお送りください。
会員ギャラリー	絵画・生け花・陶器などの作品写真をお送りください（最大3点まで）。写真作品はこちらでも掲載できます。
会員活動報告	会員同士の交流やイベントの報告内容など（800字以内）・写真（1～2点）をお送りください。
会員の声	テーマは自由、1,000字以内（写真掲載希望の場合、写真は1～2点・800字以内）にまとめて、お送りください。

※誌面から、出版社の書籍紹介ページ（Webサイト）やご自身のSNSなどにリンクできます。URLを記載してください。

同窓会「開催告知」及び「開催報告」

開催告知	同窓会名称・開催日・開催場所・連絡先または案内ページ（Webサイト）のURLをお送りください。
開催報告	開催された会を報告する内容の文章（200字以内）・写真（1～2点）あれば詳細報告ページ（Webサイト）のURLをお送りください。

投稿にあたって

氏名・会員番号（又は、出身大学・学部・卒年）を明記の上、学士会事務局までメールにてお送りください。

送付先

koho@gakushikai.or.jp

- ※投稿の受信確認及び、掲載可否の連絡はいたしません。
- ※掲載作品・掲載時期は『NU7』編集委員会で決定します。選考に関する質問にはお答えできません。
- ※誌面の都合上、編集させていただく場合がございます。
- ※原稿（データを含む）は原則として返却いたしません。
- ※政治・宗教・団体や個人への毀誉褒貶に関わる投稿は受け付けできません。また、差別表現などは修正させていただく場合がございます。
- ※会員通信の著作権は、本会に帰属します。



学士会主催

ハイブリッド講演会

(「夜講演会」・「昼講演会」)

(2025年 7月～9月) [場 所] 一橋講堂 中会議場 3・4
[参加費] 3,000円

※学士会館休館中も、食事提供無しの「ハイブリッド講演会」(来場+オンラインライブ配信)を、随時、開催しております。

- ・来場の場合、会場は、学士会館斜め前、如水会館隣の「[一橋講堂 中会議場 3・4](#)」(東京都千代田区一ツ橋 2-1-2 学術総合センター 2階)になります。
- ・来場が難しい方は、ご自身のPCやスマホで視聴が可能な《[オンラインライブ配信](#)》をご利用ください。

◎ハイブリッド 夜講演会 (19:00～講演/20:00～質疑応答)

7月10日(木) 山海 嘉之氏 (筑波大学教授/CYBERDYNE(株)社長/CEO/
内閣府 SIP プログラムディレクター)

「超高齢社会のための『サイバニクス医療健康イノベーション』」

1987年筑波大学大学院修了、工学博士。2004年筑波大学システム情報系教授(現任)、CYBERDYNE(サイバーダイン社)創設。2014年内閣府 ImPACT 革新的研究開発推進プログラムプログラムマネージャー、サイバーダイン社上場。2017年筑波大学サイバニクス研究センター研究統括(現任)。2020年筑波大学未来社会工学開発研究センター/F-MIRAIセンター長(現任)。2023年内閣府戦略的イノベーション創造プログラム(SIP)プログラムディレクター(現任)。身体機能を改善・補助・拡張・再生することができる世界初の装着型サイボーグ「HAL」を開発。World Technology Award 大賞、グッドデザイン賞金賞、世界経済フォーラム Technology Pioneer、Edison Awards 金賞、トムソン・ロイター IPO of the Year、内閣総理大臣賞(日本ベンチャー大賞)、紫綬褒章、文部科学大臣賞(技術経営・イノベーション賞)等、受賞歴多数。

8月は休会です。

9月8日(月) 藤井 啓祐氏 (大阪大学大学院基礎工学研究科教授/理化学研究所量子計算理論研究チームチームリーダー)

「量子コンピュータの現状と未来」

2006年京都大学工学部卒業。2011年京都大学大学院工学研究科博士課程修了。京都大学白眉センター特定助教、東京大学大学院工学系研究科附属量子科学研究センター助教、京都大学大学院理学研究科特定准教授等を経て、2018年株式会社 QunaSys 最高技術顧問(兼任)。2019年大阪大学大学院基礎工学研究科教授。2020年大阪大学量子情報・量子生命研究センター副センター長(兼任)。2021年理化学研究所量子コンピュータ研究センター量子計算理論研究チームチームリーダー(兼任)。京都大学総長賞、科学技術への顕著な貢献 2020(ナイスステップな研究者)、日本学術振興会賞、大阪大学栄誉教授等受賞歴多数。日本科学未来館において今年4月に公開された新規常設展示「量子コンピュータ・ディスク」の総合監修を務める。



◎ハイブリッド 昼講演会 (14:30～講演/15:30～質疑応答)

7月22日(火) グレン・S・フクシマ氏 (米国先端政策研究所上級研究員/元米国大統領府通商代表部通商代表補代理(日本・中国担当))

「トランプのアメリカはどこへ向かうのか～日米・米欧関係の行方」

カリフォルニア州出身の日系三世。1972年スタンフォード大学卒業。1982年ハーバード・ビジネス・スクール、ハーバード・ロー・スクール修了。フルブライト研究員として1982年から1年間、東京大学法学部で研究。1985年米国大統領府通商代表部に入省。1988年米国通商代表補代理(日本・中国担当)。1998年在日米国商工会議所会頭。2004年日本NCR株式会社代表取締役共同社長。2005年エアバス本社上級副社長・日本法人エアバス・ジャパン株式会社代表取締役社長兼CEO。2010年エアバス・ジャパン株式会社取締役会長。2022年米国投資者保護公社副理事長。1993年『日米経済摩擦の政治学』で、第9回大平正芳記念賞特別賞を受賞。

8月は休会です。

9月24日(水) 桑野 玲子氏 (東京大学生産技術研究所教授)

「埋設インフラの老朽化と道路陥没～その実態と対策」

1986年東京大学工学部卒業。1988年東京大学大学院工学系研究科修士課程修了。1999年ロンドン大学インペリアルカレッジ Ph. D. 取得。大成建設株式会社土木本部土木設計部、東京大学大学院工学系研究科助手、講師を経て、2001年独立行政法人土木研究所材料地盤研究グループ主任研究員。2006年東京大学生産技術研究所助教授。2013年から現職。地盤工学会賞論文賞(英文部門)、地盤工学会功労章、新道路技術会議優秀技術研究開発賞、地盤工学会賞論文賞(和文部門)など、受賞歴多数。

詳細は、[学士会公式サイト](#)または事務局まで。

TEL: 03-6665-9685(平日9:00～17:00) MAIL: koenkai-info@gakushikai.or.jp

告知



『學士會会報』973号(2025年7月発行)のご案内

※都合により、内容が変更になる場合があります。

2025年7月発行の『學士會会報』973号は、以下の内容を掲載しています。

■講演録■

「難局打開への提案ー加速する財政悪化ー」(2月ハイブリッド夜講演)

野田 毅氏(元自治大臣)

「世界遺産『佐渡島』の金山ーその歴史と史跡・文化財ー」(2月ハイブリッド昼講演)

坂井 秀弥氏(新潟市歴史博物館みなとびあ館長/奈良大学名誉教授)

「難治性がんを標的とした新たな治療戦略の開発」(3月ハイブリッド夜講演)

中山 敬一氏(東京科学大学特別荣誉教授)

「温故知新で南海トラフ地震に備える」(3月ハイブリッド昼講演)

福和 伸夫氏(名古屋大学名誉教授/あいち・なごや強靱化共創センター長)

その他の内容につきましては、[学士会公式サイト](#)からご確認ください。



告知



美術院国宝修理所 見学会

【場 所】美術院七条工房
(京都府京都市)

13:30～15:00 【参加費】 1人 12,000円

2025年7月26日(土)

「美術院国宝修理所」において、所長の岩下淳氏による解説付き見学会を開催いたします。美術院は、岡倉天心が明治31(1898)年に創設した「日本美術院」の国宝修理部門を起源とし、国宝・重要文化財に指定されている木彫(仏像・神像など)の修理のほとんどを手がけています。

※美術院国宝修理所の工房は4カ所ありますが、今回の見学場所は、京都府京都市下京区にある「七条工房」になります。

詳細は、[学士会公式サイト](#)または事務局まで。

TEL: 03-6665-9685 (平日9:00～17:00) MAIL: jigyoun@gakushikai.or.jp

告知 学士会主催



若手茶話会 (ドカフェ・読書会・ミニプレゼン会)

【形態】未定
【参加費】無料

2025年7月26日(土)・8月24日(日)(ミニプレゼン会)・8月31日(日)(読書会)

参加者を45歳以下の若手会員に限定した交流会「ドカフェ」「読書会」「ランチ会」や、同世代のメンバーがプレゼンターとして知識を披露する「ミニプレゼン会」を開催しています。



詳細は、[学士会公式サイト](#)または事務局まで。

TEL: 03-6665-9686 (平日9:00～17:00) MAIL: doukoukai@gakushikai.or.jp

報告 学士会主催



「皇居三の丸尚蔵館長と巡る見学ツアー」開催報告

【場 所】皇居三の丸尚蔵館

2025年4月8日(火) 14:00～16:00

皇居東御苑内の「皇居三の丸尚蔵館」において、初代館長を務める島谷弘幸氏と館内を巡るイベントを開催しました。江戸時代中期に活躍した絵師、伊藤若冲の《動植綵絵》など展示品解説に加え、修復作業室や収蔵庫といった、関係者でも限られた人しか入室できないエリアまでご案内いただきました。





「第58回関西茶話会」開催報告

【場 所】 京都大学楽友会館

2025年4月19日(土) 14:30~16:30

京都大学大学院人間・環境学研究科教授の中嶋節子氏を講師にお迎えし、「京都の別荘群と近代和風建築・庭園—京都大学清風荘・南禅寺界隈を中心に—」との演題で開催しました。

講演では、京都大学が所有する唯一の文化財建造物である「清風荘」と国の名勝となっている庭園の歴史的背景などについて、各種の史料や画像を使用し解説していただきました。当日の講演録は、2025年11月1日公開の『NU7』No.62に掲載予定です。



案内

学生会竹橋事務所「同好会室」利用に関するご案内



学生会事務局は、会館再開発に伴い4月中旬に新事務所へ移転いたしました。その際、事務局執務室に加え、撞球・囲碁・将棋ができる「同好会室」を新たに設置し、この度、会員の皆さまにご利用いただけるようになりました。

同好会会員（撞球会、囲碁会、将棋会）以外で、利用を希望される皆さまには「[事前登録](#)」をお願いいたしております。ご希望の方は、以下をご確認の上「[事前登録](#)」をお願いいたします。

「同好会室」利用可能時間・利用料について（一般会員向け）

撞球施設	【利用可能時間】 平日 10:00~17:45 【利用料金】 500円/30分（1日最大1,500円）
囲碁施設	【利用可能時間】 火・木・金 10:00~17:45 【利用料金】 700円/1日
将棋施設	【利用可能時間】 月・水・金 10:00~17:45 【利用料金】 700円/1日

※利用者は、学生会正会員（普通会員・終身会員）または学生会員に限ります。
 ※上記以外の時間は同好会例会日となります。また、土日祝は利用できません。
 ※同好会会員の方の利用については、各同好会へお問い合わせください。

「事前登録」フォーム <https://forms.gle/B6yscN4ZXkxSKezE8>

お問い合わせは、事務局まで。

TEL：03-6665-9686（平日9:00~17:00） MAIL：doukoukai@gakushikai.or.jp



学士会 Web名簿閲覧システムのご利用の手引き

① 「Web名簿閲覧システム」にアクセス



学士会公式サイトからもアクセスできます。

② 「ユーザーID／パスワード」を入力後、ログインをクリックしてください。

初回ログイン時には、メールアドレスと生年月日の登録が必要になります。

- ✓ ログイン後、ユーザーID／パスワードは自由に変更できます。
- ✓ 万一、変更したパスワードを忘れてしまった場合は、登録済のメールアドレスと生年月日で即時に再発行を受けることができます。

- ✓ セキュリティはシステム管理者にて充分に守られますが、各会員におかれましても、ご自身のID／パスワードは確実に保管していただきますようお願いいたします。

③ Web名簿閲覧システムには主に以下のような機能があります。

- ✓ ご自身の登録情報の確認と変更(プロフィール確認・変更)
- ✓ 学会会員の検索・閲覧(Web版氏名録)
学会会員の情報のうち、開示可とされたものを検索・閲覧することができます。
- ✓ 学会会員であることの証明(デジタル会員証)

④ プロフィール確認と変更



(編集画面)

- 左メニュー「プロフィール確認・変更」からご自身のご登録状況を確認できます。
- 住所、勤務先などの情報はご自身でご変更いただけますようお願いいたします。
- 登録情報を会員にどの程度開示して良いか、ご自分で設定してください。「開示」「非開示」の設定ができます。

⑤ Web版氏名録の閲覧

左メニュー「会員検索」より、卒業大学・卒業・修了年、氏名、住所、勤務先等を検索し、本人が開示を許可した情報を閲覧できます。



スマートフォンからも
ご利用いただけます。



<https://member.gakushikai.or.jp/e-gakushikai/>

ユーザーID/パスワードが不明な方は、学会事務局 (member@gakushikai.or.jp)
まで、お問い合わせください。





七大学生協 書籍ランキング BEST 5



期間：2025年5月1日～2025年5月31日

*書名から出版社の書籍案内ページにリンクしております

北海道大学生協 書籍部 Clark

	書名	著者名	出版社
文庫・新書	1 町の本屋はいかにしてつぶれてきたか 知られざる戦後書店抗争史	飯田一史	平凡社
	2 進化という迷宮 隠れた「調律者」を追え	千葉聡	講談社
	3 シベリア抑留とは何だったのか 詩人・石原吉郎のみちのり	畑谷史代	岩波書店
	4 天路の旅人 上	沢木耕太郎	新潮社
	5 恐竜大絶滅 陸・海・空で何が起きていたのか	土屋健	中央公論新社
一般書	1 北大キャンパスガイド	北海道大学 CoSTEP、北海道大学総務企画部広報課、北海道大学生協同組合(編)	北海道大学出版会
	2 マンガでカンタン! ファシリテーションは7日間でわかります。	平石直之(著)、春原弥生(漫画)	Gakken
	3 北海道樹木図鑑	佐藤孝夫	垂瑠西社
	4 はじめての英語学	長谷川瑞穂(編著)、大井恭子、木全睦子、森田彰、高尾享幸(著)	研究社
	5 時間は存在しない	カルロ・ロヴェッリ(著)、富永星(訳)	NHK 出版

東北大学生協 川内購買書籍店

	書名	著者名	出版社
文庫・新書	1 第四間水期	安部公房	新潮社
	2 暇と退屈の倫理学	國分功一郎	新潮社
	3 思考の整理学	外山滋比古	筑摩書房
	4 #真相をお話します	結城真一郎	新潮社
	5 同志少女よ、敵を撃て	逢坂冬馬	早川書房
一般書	1 TOEIC® L&R TEST 出る単特急 金のフレーズ	TEX 加藤	朝日新聞出版
	2 TOEIC® L&R TEST 文法問題 できる 1000 問	TEX 加藤	アスク出版
	3 公式 TOEIC® Listening & Reading 問題集 11	ETS	国際ビジネスコミュニケーション協会
	4 公式 TOEFL® 英単語	ETS、ETS Japan、笹山尚子	ジャパンタイムズ出版
	5 まったく新しいアカデミック・ライティングの教科書	阿部幸大	光文社

東京大学生協 本郷書籍部

	書名	著者名	出版社
文庫・新書	1 「東大卒」の研究 データからみる学歴エリート	本田由紀(編著)、久保京子、近藤千洋、中野内律、九鬼成美(著)	筑摩書房
	2 中動態の世界 意志と責任の考古学	國分功一郎	新潮社
	3 コーポレートガバナンス入門	太田洋	岩波書店
	4 街とその不確かな壁 上	村上春樹	新潮社
	5 内務省 近代日本に君臨した巨大官庁	内務省研究会	講談社
一般書	1 まったく新しいアカデミック・ライティングの教科書	阿部幸大	光文社
	2 よくわかる歴史社会学	佐藤健二、野上元、祐成保志(編著)	ミネルヴァ書房
	3 世界 99 下	村田沙耶香	集英社
	4 NEXUS 情報の人類史 上 人間のネットワーク	ユヴァル・ノア・ハラリ(著) 柴田裕之(訳)	河出書房新社
	5 PLURALITY 対立を創造に変える、協働テクノロジーと民主主義の未来	オードリー・タン、E・グレン・ワイル、 Community(著)、山形浩生(訳)	サイボウズ、ライツ社



名古屋大学生協 Booksフロンテ

	書名	著者名	出版社
文庫・新書	1 一次元の挿し木	松下龍之介	宝島社
	2 論理的思考とは何か	渡邊雅子	岩波書店
	3 君のクイズ	小川哲	朝日新聞出版
	4 移動と階級	伊藤将人	講談社
	5 街とその不確かな壁 上	村上春樹	新潮社
一般書	1 チャート式シリーズ 大学教養 線形代数	加藤文元(監修)、数研出版編集部(編著)	数研出版
	2 チャート式シリーズ 大学教養 微分積分	加藤文元(監修)、数研出版編集部(編著)	数研出版
	3 線型代数入門	齋藤正彦	東京大学出版会
	4 物理テキストシリーズ 4 電磁気学	砂川重信	岩波書店
	5 線形代数の半歩先 データサイエンス・機械学習に挑む前の30話	大久保潤	講談社

京都大学生協 ブックセンタールネ

	書名	著者名	出版社
文庫・新書	1 ハイエク入門	太子堂正称	筑摩書房
	2 街とその不確かな壁 上	村上春樹	新潮社
	3 中華とは何か 遊牧民からみた古代中国史	松下憲一	筑摩書房
	4 国立大学教授のお仕事 とある部局長のホンネ	木村幹	筑摩書房
	5 ロシア政治 プーチン権威主義体制の抑圧と懐柔	鳥飼将雅	中央公論新社
一般書	1 まったく新しいアカデミック・ライティングの教科書	阿部幸大	光文社
	2 微分方程式の数値解析とデータサイエンス	宮武勇登、佐藤峻	サイエンス社
	3 線形代数の半歩先 データサイエンス・機械学習に挑む前の30話	大久保潤	講談社
	4 NEXUS 情報的人类史 上 人間のネットワーク	ユヴァル・ノア・ハラリ(著) 柴田裕之(訳)	河出書房新社
	5 啓蒙の海賊たち あるいは実在したリバタリアの物語	デヴィッド・ングレーバー(著) 酒井隆史(訳)	岩波書店

大阪大学生協 書籍部 豊中店

	書名	著者名	出版社
文庫・新書	1 思考の整理学	外山滋比古	筑摩書房
	2 街とその不確かな壁 上	村上春樹	新潮社
	3 街とその不確かな壁 下	村上春樹	新潮社
	4 国立大学教授のお仕事 とある部局長のホンネ	木村幹	筑摩書房
	5 ブラック・カルチャー 大西洋を旅する声と音	中村隆之	岩波書店
一般書	1 会社法	伊藤謙史、大杉謙一、田中亘、 松井秀征(著)	有斐閣
	2 微分方程式の数値解析とデータサイエンス	宮武勇登、佐藤峻	サイエンス社
	3 ヒルベルトの23問題に挑んだ数学者たち	ペーター・ミシン、H・ヤンデル(著) 細川昌史(訳)	みすず書房
	4 政治学原論 方法・理論・実証	加藤淳子	東京大学出版会
	5 民法2 物権	山本敬三(監修)、石綿はる美、白石大、 永津太郎(著)	有斐閣

九州大学生協中央図書館店+皎皎舎店

	書名	著者名	出版社
文庫・新書	1 街とその不確かな壁 上	村上春樹	新潮社
	2 街とその不確かな壁 下	村上春樹	新潮社
	3 思考の整理学	外山滋比古	筑摩書房
	4 コンビニ人間	村田沙耶香	文藝春秋
	5 ハイエク入門	太子堂正称	筑摩書房
一般書	1 TOEIC® L&R TEST 出る単特急 金のフレーズ	TEX 加藤	朝日新聞出版
	2 TOEIC® L&R TEST 文法問題 出る 1000問	TEX 加藤	アスク出版
	3 TOEIC® L&R TEST 出る単特急 金の1000問	TEX 加藤	朝日新聞出版
	4 公式 TOEIC® Listening & Reading 問題集 11	ETS	国際ビジネスコミュニケーション協会
	5 TOEFL® テスト英単語 3800	神部孝	旺文社



コロナ禍以来、家にいる時間が多くなり大相撲をよく見るようになった。先日千秋楽を迎えた五月場所では大関大の里が優勝し、米場所から横綱になることが決定した。この調子で行くと令和の大横綱になりそうな勢いだ。七月場所からは豊昇龍と二人横綱になり、ますます相撲が面白い。

大相撲の世界では、20代で頂点に立ち、完璧な心技体が求められるが、今の若い力士は昔より自身の考えや方向性をしっかり持っているような気がする。

昨年引退した貴景勝を初めて間近で見たのは、一昨年の一月場所だった。ずいぶんと小柄な印象だったが、横幅があり、正直なところ見た目が美しい力士とは言えなかった。しかし、上腕と背中の筋肉の隆起には驚いた。ただ、背中の皮膚は赤黒く変色しており、素人目にも、この背中で長く勝ち続けるのは厳しいのではないかと思った。

最近、貴景勝は解説者・湊川親方としてたびたびメディアに登場するようになった。まだ20代とは思えない、落ち着いた、的確な解説ぶりである。
(編集委員：佐藤千恵子)

学士会主催ハイブリッド昼講演会で「ダークマターの正体に迫る」という感動的な話を聞いた。講師はカブリ数物連携研究機構の初代機構長の村山斉先生。今、宇宙望遠鏡で見えるのは138億年前に起きたビッグバンまで。水素とヘリウムが3:1で存在していた。銀河系の中で星々が飛び出していないのは、暗黒物質で引き留められているからだ。ダーク（暗黒）マターは、黒いではなく暗く見えないから、ダークマターと呼ばれる。ダークマターの重力で光が曲げられるので、遠くの銀河は歪んで見える。

ダークマターとは何か？ 現在分かっているのは、①暗い星ではない。②ニュートリノでもない。③今の基礎理論を超えるものだ。

私が理学部に入学した当初、物理の最初の授業で言われた言葉は今でも覚えている。「物理の最初の扉はニュートンによって開かれ、次の扉はアインシュタインによって開かれた。その次にぶつかる扉を開くのは君たちだ」と言われ、18歳の幼き科学者の卵であった我等は感動したのだった。今回の講義はその時の感動を呼び覚ましてくれた。
(編集委員：田村恵美子)

本当にもすごいスピードで世の中が変わっていくのを実感している。エンジニアの開発速度が尋常ではないスピードで向上しており、これまで大切とされてきたプログラミングスキルがどんどん覆されていく。

一方で、やはりある程度勘どころを押さえているかどうかの差も広がってきている。ただの知識を持っただけではAIに置き換えられてしまう。知識を集積した集まりから知恵とも職人技とも言うべきポイントを見定められるかどうか、身につけているかどうかが問われる時代となってきたように感じている。

しかしその知識を集積するという行為の必要性というものは、入口・入門時点においては人間に必要とされていない、AIに聞けば良いのだから。職人が育たない、育つ土壌がない中で、AIを使いこなすためには今後どうすべきなのだろう。
(編集委員：吉積礼敏)

NU7 第60号

2025年 7月1日 発行

編集兼
発行人

大垣 眞一郎

発行元

一般社団法人学士会

〒100-0003 東京都千代田区一ツ橋1-2-2

住友商事竹橋ビル2階

TEL：03-6665-9681 ※移転しました※

HP：<https://www.gakushikai.or.jp/>  

MAIL：koho@gakushikai.or.jp

製 作

大日本法令印刷株式会社

学士会館閉館中の会員優待施設のご案内

学士会館閉館（一時休館）中、会員の皆様に優待価格にてご利用いただける代替施設をご用意しました！ ぜひ、ご利用ください。



婚礼

如水会館(学士会館斜め前)

優待価格：1,107,500円(30名様利用/税込) ※通常利用1,381,160円

- ◆ プラン名：『学士会館様ウエディングプラン』
※その他のプランについても応相談
- ◆ お問合せ：03-3261-1101(代表)
- ◆ 利用条件：如水会館へ直接ご連絡の上、「学士会会員」である旨をお伝えください。
(会員証を提示するか、出身大学・卒年・学部をお伝えください)



宿泊

KKRホテル東京(学士会館から徒歩7分)

優待価格：一般料金より2,000円割引

- ◆ 利用条件：お電話での予約が必要です。ご予約の際に「学士会会員」である旨をお伝えください。
(チェックイン当日に会員証を提示してください)
- ◆ 宿泊予約：03-3287-2921(代表)

ご利用の際に「学士会会員証」が必要です

詳細はクリック



目次



脈々と、受け継がれる叡智。

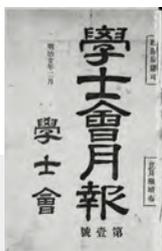
GAKUSHIKAI
UNIVERSITY ALUMNI ASSOCIATION

学士会とは

学士会は国立七大学（北大・東北大・東大・名大・京大・阪大・九大）の卒業生・学生・教員約4万人からなる総合同窓団体です。

学士会の発端は、明治19（1886）年4月に開かれた東大初代総理・加藤弘之先生の謝恩会（右写真）でした。会の参加者のあいだに、今後もこのような親睦の会を続けたいという気運が高まり、同年7月、学士会が創立されました。

約140年の歴史を持つ学士会は、現在、七大戦特別協賛をはじめとした七大学への支援や七大学同窓団体との連携のほか、[会員向けにさまざまなサービス](#)を展開しています。



会員資格

七大学の卒業生・教職員・学生

※詳細は、学士会公式サイト「[情報公開](#)」の[定款](#)をご覧ください。

※学生の方は、[学生会員](#)への登録となります（会費無料）。

会費

入会金なし・年会費 4,000円

※学士会事業年度は4月1日～翌3月31日。

※新卒限定の[会費優待制度](#)や会費一括納入の[終身会員制度](#)もあります。

主な会員サービス

明治20（1887）年創刊の会報誌ならびに情報誌の刊行
知的好奇心を刺激する講演会・イベント開催
趣味や交友関係が広がる同好会・交流会の支援
幅広いライフイベントで利用できる会員優待
会員倶楽部施設「[學士會館](#)」運営
※2030年まで閉館（2025年7月現在）※
など



一般社団法人 **學士會**

北大・東北大・東大・名大・京大・阪大・九大
卒業生のためのアカデミック・コミュニティ・クラブ

入会を
申し込む



目次